

令和7年度 定期モニタリング評価表（年間）				公表用
施設名	枚方市立生涯学習市民センター・図書館 （蹉跎・牧野）	所管部署 （連絡先）	観光にぎわい部文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会中央図書館（050-7105-8110）	令和8年6月実施

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目	評価の視点	
1 業務の履行状況	事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む） (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行います。
	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
	リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。
2 業務の継続性・安定性	指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市北中振3丁目27-10 枚方市宇山町4-5（牧野北分館）枚方市牧野北町11-1	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理期間	令和5年(2023年)4月1日から 令和10年(2028年)3月31日まで		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	さだ・まきの文化創造プロジェクト	代表団体 (JVの場合)	株式会社小学館集英社プロダクション
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都千代田区神田神保町二丁目30番地	構成団体 (JVの場合)	株式会社図書館流通センター 株式会社長谷工コミュニティ

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画どおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
1	全く計画どおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

◆ 定期モニタリングで評価が1・2となったポイントについては、必ず次回の定期モニタリングにおいて状況を確認してください。

評価ポイント		指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
		評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項9）					
	・生涯学習施設と総合文化芸術センターの連携を意識した効果的な事業展開	3	・生涯学習施設を日常的に活動・練習の場としている団体に向け、さらなる活動の振興を推進し、総合文化芸術センターでの成果の発表が実現できるように支援していくことを目指します。 ・総合文化芸術センターで活躍している演者や芸術家にコンタクトをとり、生涯学習施設でも質の高い事業を企画・実施をしました。 【さだ】 ・7月和太鼓団体のミニコンサートを実施 定員20人 参加者26人 【牧野】 ・2月わたなべゆう×初田悦子ジョイントコンサートを実施 定員60人 参加者46人	3	総合文化芸術センターで活躍している芸術家のコンサートを実施し、生涯学習施設と総合文化芸術センターの連携を意識した効果的な事業展開ができており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・生涯学習施設と図書館が連携し、生涯の学びを支え、市民同士の交流がうまれるようなサービスを拡充	3	【さだ】 ・2階ロビーには図書館からの情報をお知らせするコーナーを設け、1階図書館内にはセンターで開催するイベントのチラシを配架しています。来館者が双方の情報に触れることで来館のきっかけが広がり、施設を行き来する中で自然な交流が生まれるよう工夫しています。 ・8月にセンター・図書館連携事業「夏の映画上映会」を実施しました。冒険映画の上映に合わせ、図書館内ではイベント連動展示として、冒険に関する書籍を展示し、会場内でも関連本を展示しました。上映後には参加者同士で映画の感想を話したり、一緒に本を手取る様子も見られ、新たな会話や関心の共有が生まれました。結果として貸出にもつながりました。定員100人 参加者80人 ・8月にセンター・図書館連携事業「さだ納涼怪談2025」を実施しました。図書館内では「こわいはなしのおたのしみぶくろ」を52袋準備し、3日間で全て貸出しされました。センター2階ロビーでは妖怪の装飾や、利用者が参加したぬり絵による壁面展示を行い、来館者同士が作品を見比べたり感想を交わすなど、空間を共有しながら楽しむ交流の場となりました。定員40人 参加者45人 ・12月にセンター・図書館連携事業「さだクリスマスフェスタ 2025」を実施しました。ものづくりのワークショップやミニコンサート、図書館職員によるおはなし会も開催しました。世代を超えて同じ空間で体験を共有することで、来場者同士の会話やつながりが生まれる機会となりました。 ・1月にセンター・図書館連携事業「絵本のなかのお菓子作り」を実施しました。小学生を対象に、絵本の世界をきっかけに料理を体験する内容とし、参加者が協力してクッキーを作る中で自然なコミュニケーションが生まれました。また、読み聞かせや本の紹介を通じて共通の話題が広がり、子ども同士や保護者との交流のきっかけとなりました。 定員16人 参加者15人 【牧野】 ・5月にセンター・図書館連携事業「まるごとじゃがいも」を実施しました。北分館の菜園で栽培したじゃがいもを協力しながら収穫し調理することで、市民同士の交流が生まれました。また、じゃがいもに関する絵本の読み聞かせを行い、体験と学びを共有する場となりました。定員8人 参加者7人 ・8月に子供向け夏休み事業として「イラストで作る、わたしたちの綺麗な海」を実施しました。図書館で所蔵する海洋環境に関する蔵書を参考にし、SDGsについて学びながら海洋保護に関するイラストを作成しました。完成したイラストは2階ロビーに展示し、市民への環境普及活動に貢献しました。 定員10人 参加者8人 ・2月にセンター・図書館連携事業「みんなでつくる大きな本の木」を1か月間実施しました。来館者に"愛と友情"をテーマにした自身のおすすめの本をPOPに書いてもらい、それらを展示することで、新たな本との出会いや市民同士の交流がうまれました。参加者39人 ・2月にセンター・図書館連携事業「枚方市の郷土料理「ごんぼ汁」作り～歴史から郷土料理を学ぶ～」を実施しました。参加者は牧野図書館長による講義を受けた後、実際にごんぼ汁を調理しました。枚方市の歴史や郷土料理への関心を高められたうえ、食育の面でも高評価をいただきました。 定員6人 参加者5人	3	生涯学習施設と図書館が連携し、市民同士の交流がうまれる事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・小中学校との連携を図る事業や電子図書館の積極的な利用促進、子どもたちの主体性を重視した体験型・参加型の催しなどを実施し、子どもたちの「生きる力」を育成	3	・学校訪問おはなし会や図書館見学では、楽しみながら本や図書館に親しみ、興味を持ってもらえるようプログラムを組んでいます。また、子どもたちが自ら考えて取り組むことができる体験型・参加型の催しを実施しています。 【さだ】 ・9月蹉跎西小学校にて「学校訪問おはなし会」を実施しました。2年生2クラス計53人の児童に本から出題したクイズ大会や、大型絵本の読み聞かせ、おススメ絵本の紹介などを行いました。 ・10月蹉跎西小学校3年生2クラスの図書館見学を実施しました。 児童62人 引率教員4人 ・2月関西創価小学校2年生3クラスの図書館見学を実施しました。 児童95人 引率教員6人 ・11月伊加賀小学校2年生3クラスのまちたんけんで図書館・施設のインタビューと図書館見学を実施しました。児童93人 引率教員3人 ・5月「こどもの日おはなしかいスペシャル」および8月「こわいはなしのおはなしかい」では、プログラムの一環として、プロジェクターを用いた電子図書館のリッチコンテンツ上映を実施しました。上映後には参加者に対し「ひらかた電子図書館」の利用案内を行い、電子図書館の積極的な利用促進に取り組みました。 ・夏休み期間に、子どもたちの主体性を重視した「夏休み自由研究応援します！」というタイトルで、親子で参加できるイベントを3件実施しました。 ・7/29健康講座「おなか元気プログラム」定員20人 参加者23人 ・8/5防災講座「親子で考える防災教室」定員16人 参加者17人 ・8/19食育講座「ウイナー飾り切り教室」定員16人 参加者23人開催した3件のイベントすべてに参加してくれた親子も見られるなど、多くの参加を得て、いずれの回も盛況のうちに終了しました。 ・子どもたちが主体的に取り組める参加型・体験型行事を実施しました。 9月プログラミング講座「ロボットこくりのプログラミング教室」 定員10人 参加者17人 2月金融講座「おこづかいから学ぶお金の話」定員16人 参加者21人 3月「図書館で働いてみよう！1日図書館司書体験講座」 定員6人 参加者9人 【牧野】 ・おはなし会後などに「大阪・関西万博の見どころガイド」（小学校低学年・高学年・中高生向け）がひらかた電子図書館でも読めることをタブレットを用いて説明し、電子図書館が簡単に便利に使えることを案内しました。 ・子どもたちが主体的に取り組める参加型・体験型行事を実施しました。 7月「夏休みSDG s 工作会 リサイクルで〇〇できた！」 定員20人 参加者11人 8月「こども司書 図書館のおしごと体験」定員4人 参加者3人 1月「初心者向けプログラミング講座」定員5人 参加者4人 1月「かるたで学ぼうSDGs」定員10人 参加者5人 ・図書館見学・学校訪問おはなし会など、地域の小学校と連携を図る事業を実施しました。 6月 西牧野小学校2年生の図書館見学を実施しました。2クラス48人 7月 西牧野小学校2年生の学校訪問おはなし会を実施しました。 2クラス48人 12月 大阪府枚方支援学校小学部3年生の図書館見学を実施しました。 児童20人 引率教員11人	3	学校訪問おはなし会や図書館見学をはじめ、小中学校との連携を図る事業や電子図書館の利用促進などを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・「人」「文化」「未来」をつなぐという3つの視点を土台に、「生涯学習の窓口を」「ネットワークを」「可能性を」「未来へ」ひろげる活動	3	・地域活性の発信拠点として、利用者の安全を確保し、安心して活動ができるように館内のレイアウト等を常に見直し、より良い環境を提供しています。 ・施設の周知・認知度を上げ施設利用につながるように紙媒体やSNSでアプローチしています。また、様々な世代の方に向けて興味を持ていただける講座などの事業を展開しています。 ・枚方市で活動している団体や事業者と連絡を取り合い、活動の場、発表の場としてのセンター利用の案内や事業連携を行っています。 ・8月「さだマルシェ in summer」では近隣の障害者就労施設にお声がけをし出店をしていただきました。 ・子供向けの講座を開催し、体験や知識を得る場を提供しています。 ・枚方市の文化や歴史を継承し広げていくために、有識者による講座を企画・開催しています。 ・他にも様々な自主事業を展開しています。	3	様々な世代や分野を意識した自主事業を展開し、「生涯学習の窓口を」「ネットワークを」「可能性を」「未来へ」ひろげる活動をしており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
②施設運営に関する計画					
(ア) 管理経費・管理体制の提案					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項11）					
	・管理運営基本方針として、①公正・公平・平等②サービス向上による利用促進③適正な維持管理④諸経費の削減⑤コンプライアンスの徹底⑥環境に配慮した運営⑦地域との良好な関係の構築⑧危機管理・安全管理の徹底⑨個人情報の保護の9つを掲げ、それらに則って運営しているか。	3	・管理基本運営方針に則り運営をしています。 ①地域住民や施設利用者の多様性を尊重しながら、公平な施設運営を行っています。 ②利用者の意見や要望は施設運営に反映し、サービス向上に努め施設の利用促進を図っています。 ③施設・附帯設備及び備品などの適正な管理に努めるとともに、ファシリティ・マネジメントのノウハウを活用し、指定管理期間のみならず中長期的視点を持って施設が有する機能・性能を適正に維持管理します。 ④照明・空調のこまめな管理、消耗品の使用量の削減や再利用の徹底、チラシ印刷のコスト削減など日常運営の中でのコスト削減に取り組んでいます。 ⑤施設運営に関するあらゆる関係法令を遵守し業務を遂行しています。 ⑥廃棄物を削減し、省エネルギーに努め環境に配慮した運営を行っています。 ⑦地域との連携や良好な関係づくりに努めています。 ⑧日常的に安全管理、点検を行い、危険性を発見次第事前に対策し、事故や怪我の未然防止に努めています。また、危機管理マニュアルを備え、訓練や研修を定期的に行っています。 ⑨「個人情報の保護に関する法律」「枚方市個人情報保護条例」、代表企業・構成企業で「個人情報保護マニュアル」を設置しており、日々個人情報取り扱いに注意をはらい、安全管理のために必要な適切な措置を講じています。 ・何か発生した際には速やかに所轄課への報告、連絡、相談を行っています。	3	管理運営基本方針に則り運営しており、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに適切に運営していると判断できる。
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービスの向上、効果的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項12）					
	・業務繁忙時にも対応できる、適切かつ柔軟な人員配置とサポート体制	3	・さだ及び牧野（北分館）の人員を柔軟に配置し、人員不足が生じない体制を構築しています。 ・朝礼時にセンターおよび図書館の情報（各種講座等）を共有し、利用者への案内を円滑に行えるよう努めています。 ・緊急時等には、近隣地域で指定管理者が運営している公共施設職員によるヘルプ・サポート体制により対応します。 ・牧野では3月に「人形劇フェスティバル」を実施し、指定管理者が運営する近隣施設職員のヘルプ・サポートにより人員（9人）を確保しました。	3	業務繁忙時にも対応できる、適切かつ柔軟な人員配置とサポート体制が構築されており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

生涯学習市民センターの諸室の利用率増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項13）					
	・利用率の低い諸室の使い方の提案や諸室設置備品の充実	3	・利用者からの意見や要望を踏まえ、諸室利用の促進につながる備品の入れ替えや新規設置を実施し、利用環境の充実を図っています。 【さだ】 ・利用率の低い料理室の活用促進を目的として、昨年度に新調した調理道具や器具の案内ポスターを、料理室内および館内掲示板に掲示しています。 【牧野】 ・和室に座椅子を設置してほしいとの要望を受け、腰や膝への負担軽減と快適な利用環境の向上を目的に、各室に2脚ずつ設置しました。あわせて貸出用として4脚を別途用意し、利用者から好評を得ています。 ・プレイルームでは、未就学児が利用できる知育玩具を購入し、館内ポスターにて使用方法を案内しました。	3	利用率の低い料理室や和室の備品を更新し、周知を図るなど利用率の低い諸室の使い方の提案や諸室設置備品の充実が図られており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用率の低い諸室を中心に無料開放の機会を設けて認知度を上げる	3	・利用率の低い諸室の効果的な無料開放を行いました。 【さだ】 ・8月「ボードゲームを楽しもう！」 延べ参加者数9組25人 利用率の低い和室の活用を目的として、夏休みにボードゲームを楽しんでいただくイベントを例年開催しています。イベント終了後もボード ゲーム利用のために来館されるグループがあり、諸室利用の案内につなげました。 ・1月「さだの保育ルームで遊ぼう」 延べ参加者数27組 保育室を未就学児とその保護者を対象に無料開放し、常設の絵本の読み聞かせや知育玩具の貸出を行いました。これにより、保育室の周知および利用方法の理解促進を図りました。 【北分館】 ・1月「牧野新春！書初め」（センター・北分館で同時開催） 利用率の低い北分館の和室を開放して実施し、館内掲示等により周知を行いました。	3	利用率の低い和室や保育室を開放した事業の実施により、認知度の向上が図られており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・諸室利用の少ない夜間等の時間帯に、仕事終わりの方や若者層が興味を持つ事業として「夜間講座」「連続講座」を実施	3	【さだ】 ・仕事終わりの方にも参加しやすいよう、昼間だけでなく夜間にも講座を継続的に開催しています。実際に仕事帰りに参加される方も見られ、昼間の講座への参加が難しい層の方々から好評をいただいています。 ・4月「お味噌汁で健康生活！」定員16人 参加者15人 5月「骨を守るカルシウム講座」定員16人 参加者13人 11月「おうちで楽しいパン作り」定員16人 参加者16人 【牧野】 ・仕事終わりの方にも参加しやすいよう、夜間時間帯に講座を開催しています。また、開催日を金曜日とすることで、より参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。 4月「忙しいあなたの時短家事＆お片付け講座」 定員20人 参加者26人 11月「西洋占星術を学ぶ講座」定員12人 参加者12人 12月「元カラジエンスと歌うクリスマス会」定員60人 参加者17人 ・仕事終わりのビジネス層が興味を持つ事業として連続講座を実施 1月「美文字講座」（1回目）定員20人/参加者14人 2月「美文字講座」（2回目）定員20人/参加者13人	3	夜間に仕事終わりの方や若年層が興味を持つ講座や連続講座を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・施設の認知度を高め、施設内情報の積極的な発信	3	・紙媒体で自治体へのチラシ・センターだよりの配布・ホームページやXを運用 ・Youtubeを活用した情報発信 令和7年4月1日～令和8年3月31日 チャンネル登録者127人 視聴回数2772回 インプレッション数 約1.7万 【さだ】 ・近隣自治会へセンターだよりを配布しています。 【牧野】 ・近隣商店会へのイベントポスター配架を依頼しています。 ・Instagram発信と同時にThreadsにもクロス投稿を実施。Facebook、Xにも投稿を行うことで、多様なユーザーにアプローチしています。	3	紙媒体とオンラインで施設内情報の発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
生涯学習市民センターで活動する団体の登録数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項14）					
	・継続的な学習支援として、団体・サークル発足までのサポート	4	・同じ趣味や関心を持つ人々をつなげ、団体活動へ興味を持っていたいただけるイベントを実施しています。 【さだ】 ・11月「おうちで楽しいパン作り」定員16人 参加者16人 令和5年度にサークルを発足した団体の講師を招いて講座を開催しました。 【牧野】 ・8月「子どものためのウクレレ入門Vol.3」定員10人 参加者9人 講師として活躍したい人と参加者を繋げ、昨年講座で立ち上げた登録団体の活性化、継続の安定を目指すために開催し支援しています。 ・2月開催「美文字講座」定員20人 参加者13人 講座の講師が団体として自身の教室を発足されました。講座を受講したことで関心を高めた参加者の中には入会された方もおり、講師・参加者双方にとって有意義なつながりが生まれています。 【北分館】 ・6月「コミュニティカフェ 大人のテーブルゲームの会」 定員20人 参加者9人 牧野本館で昨年から活動を始めた団体の活動支援を目的として開催しました。参加者全員が初めて北分館を利用し、北分館の認知度向上にも繋がりました。	4	新たに発足した団体・サークルから講師を招き講座を開催するなど、団体・サークルが発足したところで支援を終えるのではなく、軌道に乗り、安定した活動を行うことができるまでのサポートを行っている点について、計画以上の良好な運営を行っていると判断できる。今後も団体・サークル発足までのサポートのみならず、その団体・サークルが継続して活動を続けられるような支援を実施されたい。
	・登録団体を中心とした学習情報の発信を行い、市民と団体活動者をつなげる取り組み	3	【さだ】 ・団体の活動者を講師として、活動内容に興味を持っていたけるような企画を実施しています。 7月「和太鼓ミニコンサート＆体験会」定員20人 参加者26人 11月「お家で楽しいパン作り」定員16人 参加者16人 【牧野】 ・6月「まきの文化祭」で登録団体の活動を体験できる「まきの体験フェス！」を行い、ダンス、エイサー、マジック、帯結びといった多様な活動を市民に体験いただきました。	3	登録団体の活動者を講師とした企画や、活動を体験できるイベントを実施し、市民と団体活動者をつなげる取組を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

	・団体活動の相談窓口を設け、イベント開催のサポート等の実施	3	【さだ】 ・多様化するイベント内容に柔軟に対応しています。打ち合わせの時間を十分にとり、開催団体のイメージに合ったイベントになるよう全力でサポートしています。 【牧野】 ・イベント実施に伴い団体へのヒアリングを徹底して行い、ご希望に沿ったイベントの実現に努めています。	3	イベント実施時のサポートを行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・生涯学習施設を利用したことのない方々の視点に立った情報発信	3	【さだ】 ・近隣の小学校のセンター・図書館見学の際には、施設の利用方法を案内しています。 ・SNSやYouTubeを活用し幅広い地域や年齢層の方々に講座情報等を発信しています。 【牧野・北分館】 ・SNSを活用し施設の講座情報や館内装飾等を公開し、足を運びたいような新たな情報発信に努めました。	3	生涯学習施設を利用したことのない方々の視点に立った情報発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・団体登録数の増加に向けたロビー利用者への情報の発信	3	・団体のイベントポスター掲示、メンバー募集チラシの配架をしました。 【さだ】 ・窓口では諸室を利用して遊べるボードゲームの貸し出しをし、団体活動につながるよう推奨しています。 【牧野】 ・2階ロビーのミニ・ギャラリーさくらんぼでは、登録団体が作成した絵画等を展示することで活動内容の情報発信を行っています。	3	団体の活動内容の発信や諸室の活用方法など団体登録数の増加に向けたロビー利用者への情報発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
ロビーを含む生涯学習市民センター全体の利用者数の増加に向けた取組みが具体的に提案されている（確認事項15）					
	・複合施設の利点を生かし、センター利用者を図書館へ、図書館利用者をセンターにつなぐ事業として、センター講座時に関連図書の展示や図書館見学時に生涯学習施設も案内する等の実施	3	・センター自主事業実施時には、会場出入口付近に関連図書を展示し、講座内でも紹介を行うことで、参加者が自然に図書館資料へ関心を持てるよう工夫しています。 【さだ】 ・8月連携事業ファミリー映画上映会「FLY!フライ!」を実施 ・8月連携事業「蹉跎納涼怪談2025」を実施 ・両イベントともに、開催前には図書館内に関連本の展示コーナーを設置し、申込につなげました。さらに、イベント当日には会場入口において関連本の特設展示コーナーを設置しました。 ・10月連携事業「もっと知りたい枚方市の取り組み 枚方市の友好都市」では、センター2階アートスペースで四万十市立図書館との交換展示を実施し、図書館利用者にセンターへも足を運んでいただくきっかけづくりを行いました。 【牧野】 ・8～9月に図書館内の児童コーナーの図書特集とロビー装飾（「JURASSIC MAKINO」）を連動させ、双方の展示を相互に案内することで、施設内を回遊しながら楽しめる仕掛けとしました。 ・12月連携事業「マッキーのナゾときツアー！～マッキーサンタのクリスマスだいさくせん～」を実施しました。多くの児童や保護者が参加し、施設内を謎解きしながら巡ることで、センター・図書館双方の利用機会を創出し、認知向上と利用促進につなげました。参加154人 【北分館】 ・5月「丸ごとじゃがいも」では、図書館職員が読み聞かせを行い、蔵書から得られた知識をもとに、収穫したじゃがいもで調理する事業を開催。図書館との連携を図ることで、来館促進につなげる取組としました。	3	センター講座時に関連図書を展示するなど複合施設の利点を生かした図書館との連携を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・幅広い世代で過ごしやすい「居場所」づくりとして、いすや机のレイアウトをニーズに合わせて改善	3	【さだ】 ・ロビー利用者それぞれの用途に合わせ、使いやすい配置となるようレイアウトを工夫しています。 ・夏季には、直射日光を遮るためにすだれを設置するとともに、金魚の装飾を施し、涼を感じられる空間づくりを行いました。 【牧野】 ・ロビーに観葉植物コーナーを設置し、目にやさしく心地よい空間づくりを意識した座席配置としています。 ・受付から死角となっていたテーブル配置を見直し、職員の目が行き届く位置へ変更することで、利用マナーの向上を図りました。 ・高校定期試験などロビー利用者が増加する時期には、テーブルや椅子を増設し、利用状況に応じた対応を行いました。	3	利用者ニーズに応じたレイアウトの工夫や観葉植物の設置、装飾を行い、幅広い世代で過ごしやすい「居場所」づくりを行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・文化の継承や発信を率先して行うなど、館内装飾や掲示の充実を図り、満足度の向上を目指す	3	・こどもの日や七夕、夏祭り等、文化の継承を意識した季節の館内装飾を行い、アンケートでは非常に高い評価をいただいています。 【さだ】 ・大阪・関西万博の大屋根リングの模型をアート・スペースに展示し、来館者に万博への関心を高めてもらうとともに、話題性のある展示として館内の魅力向上につなげました。 【牧野】 ・新たな試みとして大阪関西万博やSDGsに関する環境啓発の展示を行い話題性のある文化の情報発信を実施しました。 【北分館】 ・敷地内の花壇を有効利用し、季節ごとに合ったナスやミニトマトなどの野菜やシレネや綿花を植え景観を整えることにより利用者から来館時やアンケートで高い評価をいただいています。収穫したオクラや瓜、花壇から採取した花の種などを配布し、利用者から好評の声をいただいています。 ・館内掲示板にて「北分館つうしん」を公開し上述の花壇や菜園の様子や施設の利用案内を毎月更新し、発信しています。	4	季節に合わせた細やかな館内装飾に加え、大阪・関西万博に関連した展示を行うなど施設利用者の興味を引き、学びに繋がる内容の展示ができている点や敷地内花壇を整え、花の種等の配布や発信を行っている点が利用者満足度の向上に繋がっており、アンケートにおいて「満足」以上の回答が前年度と比較して各センターともに0.7～7.4%向上していることから計画以上の良好な運営を行っている と判断できる。

生涯学習市民センターの設置目的等を踏まえた事務所サービスが具体的に提案されている（確認事項16）					
	・人々が交流し学べる場の提供ができる体制の構築	3	・生涯学習のきっかけづくりとして様々な講座を実施しています。 ・毎月発行のセンターだよりやSNSで講座、イベントの案内を行い、市民の自発的な学習の促進を図っています。	3	センターだよりにて講座やイベント情報の発信を行い、人々が交流し学べる場の提供ができる体制の構築を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域と共同したイベントの開催	3	【さだ】 ・「さだ若葉まつり」実施 来館者数 延べ2015人（5月24日・25日の2日間） ・8月に近隣の障害者就労施設にご協力いただき「さだマルシェ in summer」を実施 来館者数 約250人（8月2日15:00～19:30にホールにて開催） 【牧野】 ・通年で「就労継続支援B型事業所わお」による季節の館内装飾を2階ロビーにて実施しています。 ・牧野小学校からの依頼により、SDGsをテーマとした生徒制作のポスター4点を、2階ロビーにおいてサクランボギャラリーとは別に新たに設けた展示コーナーで展示し、展示機会の拡充を図りました。 ・「まきの文化祭」実施 来館人数 延べ約2500人（6月7日・8日の2日間） ・3月「37thひらかた人形劇フェスティバル」実施 来館人数 延べ約1200人	3	障害者就労施設などにも参加いただくなど地域と共同したイベントの開催を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者ニーズにあわせた備品貸出のサービス	3	・令和7年度も引き続き、利用者からの要望も反映しながら備品を導入しました。 ・モバイルバッテリーを常備し、緊急時に速やかな貸出しができるよう対応しています。 ・印刷室に設置しているコピー機は、カラーコピーにも対応しています。 【さだ】 ・諸室で利用いただける湯沸ケトルとポットを窓口で貸し出しています。 【牧野】 ・プレイルームの貸出用としておままごとセットを購入し、継続的に高い利用頻度を維持しています。 ・シニア団体からの要望により、和室用スタッキングチェアの貸し出しを開始しました。 ・ミニポータブルアンプとワイヤレスマイク2本のセットを整備し、イベントや講座等において音声環境の確保に活用しています。	3	利用者ニーズにあわせた備品貸出のサービスを行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・デジタルサイネージの採用	3	・2階ロビーにデジタルサイネージを配置しています。 ・講座やイベント情報の他、施設の案内やお知らせなどを配信し、利用者の利便性向上に努めています。	3	デジタルサイネージを設置しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・施設見学への対応（見学時間を確保できない貸室については、案内動画を公開）	3	・施設見学希望者にはスタッフが同行し使い方の説明をしています。 【さだ】 ・YouTubeでの諸室紹介動画をご案内しています。 【牧野】 ・Youtubeで料理室の紹介動画を公開しました。 【北分館】 ・YouTubeで諸室の設備や備品、使用の具体例を含めた案内動画を公開しています。	3	施設見学へ対応するほか、各施設において案内動画を公開しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・騒音など利用者間のトラブルが発生しそうな予約を事前に把握して調整するといった、利用者同士の利害調整の支援	3	・音楽団体等の大音量が予想される団体には、他の利用者に配慮していただくよう声掛けをしています。	3	音楽団体等の大音量が予想される団体には、他の利用者に配慮していただくよう声掛けをするなど利用者同士の利害調整の支援を行うことで、騒音トラブルの未然防止に努めており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・介助案内表示や外国語対応、パソコン操作サポートなど、利用者が最大限に施設を利用しやすくなる各種サービスを提供	3	・利用者が施設をより円滑に利用できるよう、各種案内やサポート体制の充実を図りました。 ・窓口で筆談対応が可能である旨の掲示を行い、筆談ボードを設置しています。 【さだ】 ・スマートフォンの翻訳アプリを活用し、必要に応じた外国語対応ができる体制を整えています。 ・パソコン利用時やWi-Fi接続時において、職員による操作サポートを実施しています。 【牧野】 ・諸室利用に関する掲示にピクトグラムを用い、視覚的に分かりやすい案内としています。 ・多言語化の推進として、諸室利用掲示に英語および中国語の表記を追加しています。 ・翻訳機器「ポケトーク」を窓口を設置し、案内対応が行える体制を整えています。	3	筆談ボードや翻訳機器の設置、パソコン操作サポートなどを行い、利用者が最大限に施設を利用しやすくなる各種サービスを提供しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組みについて、具体的なアイデアが提案されている（確認事項17）					
	・さだ施設でのボードゲームやデッサンモチーフの導入や、牧野施設でのアルミミラーやホワイトボードの追加といった、施設の設備・備品の充実	3	・子育て世代に向け、知育玩具を用意しています。 【さだ】 ・多種類のボードゲームを施設利用者へ貸出しを行い、使い方がわからない場合は、職員がサポートしています。 ・デッサン用のモチーフ（石膏像）を第2集会室で保管しており、美術団体の利用促進のひとつとしてご利用いただいています。 【牧野】 ・利用頻度の高いホワイトボードを事務所での貸出に加え、3階にも設置しており、利用者の移動負担を軽減しスムーズな貸出対応が可能となっています。 ・若年層のダンス利用者からのニーズが高いアルミミラーは、増設することで同時間帯での利用者の重複を低減させ、快適な利用環境の整備を図っています。 ・ホール利用者から要望の多かったスマートフォンやパソコンなどの音をスピーカーにつなげるステレオ変換端子（ミニジャック-ジャック）を購入し、円滑な音響設備の利用に努めています。 ・和室に座椅子を購入し、利便性の良い部屋づくりに努め、シニア層の利用者からご好評をいただいています。 ・利用者からピアノ椅子のガタつきに関する要望があったため、音楽室のピアノ椅子を購入・入れ替えし、利用環境の改善を図りました。 【北分館】 ・館の外観部に、防犯・安全のためLEDセンサーライトを導入しました。 ・事務室から施設の裏口が確認できないことから、防犯目的で防犯ブザーを購入・設置しました。裏口からの出入りを音で把握できるよう取り付けしています。	3	利用者ニーズに応じた施設の設備・備品の充実を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

(ウ) 改善提案（図書館）					
図書館の新規登録者を増やすための取組みが提案されている（確認事項18）					
	・1フロビーを活用した定期的な貸出カード登録会の実施。	3	【さだ】 ・5月さだ若葉まつり開催時に1フロビーにて「図書館カード登録会」を実施しました。貸出カード登録をすることで利用できるサービスを掲示、図書館を利用したことがない方へは、貸出カード登録が無料であり、0歳児から登録が可能であることも掲示しました。新規登録者13人 ・8月さだマルシェ in summer開催時に3ホール内で「図書館カード登録会」を実施しました。新規登録者0人 ・12月さだクリスマスフェスタ開催時に1フロビーにて「図書館カード登録会」を実施しました。新規登録者1人 ・令和7年度は、図書館カード登録会を3回実施し、新規登録者は14人となりました。 ・貸出カード登録会に来られた方へは、即時発行できる図書館カードを案内しておりますが、証明書不携帯や時間がない方へは「スマート登録」を案内しました。「スマート登録」については、館内掲示やHPのほか、SNS「X」でも案内しています。 【牧野】 ・6月まきの文化祭「ヨシタケシンスケパネル展」会場内で貸出カード登録会を実施しました。展示会場内に「貸出カード登録会」デスクを設置、合わせて「スマート登録」案内・手順説明パネルを用意しました。新規登録者2人 ・10月、1フロビーで貸出カード登録会を実施しました。新規登録者1人 ・1月に1フロビーで貸出カード登録会を実施しました。新規登録者1人 ・3月人形劇フェスティバル開催時に1フロビーで貸出カード登録会を実施しました。新規登録者0人 各回とも、当日登録者にはオリジナルブックカバー（紙製、文庫版）をプレゼントし、利用者には大変好評でした。 令和7年度は、貸出カード登録会を4回実施し、新規登録者は4人となりました。また、当日に証明書不携帯の方には、自宅でもできる「スマート登録」を案内しています。	3	1フロビーを活用した貸出カード登録会の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。当日の登録ができなかった方へのスマート登録の案内についても、継続していただきたい。
	・ポスティングによる利用案内や図書館事業広報の実施。ポスティングしたチラシ持参で新規登録された方にオリジナル葉等プレゼント。	3	【さだ】 ・4月図書館利用案内の改訂に合わせて事業チラシと一緒に、施設に隣接する新規マンションにポスティング（45件）を実施しました。 ・光善寺駅前の再開発による建設中の新築マンションが多数存在しており、新しく転入してきた入居者に向けて、図書館の存在を知っていただくためにポスティングを実施していきます。 ・図書館事業広報の一環として、ポスティング以外にも駐車場正面入口横に「さだ図書館イベント案内」看板を新たに設置しました。 ・最新のイベント情報ポスターを掲示し、近隣住民に向けて図書館の存在をアピールしています。また、SNS「X」も積極的に活用しています。イベントや展示、ラーニングルームに関する「X」への投稿は年間180件以上行っています。また、枚方市公式LINEも積極的に投稿しています。イベント申込日に合わせてLINEを発信することで、LINEから直接イベント申込をされる方も増えています。近隣だけではなく広範囲にわたり、さだ図書館の存在をアピール、新規登録者を増やす取組みを行っています。 上半期新規登録者：330人 昨対111.5% 下半期新規登録者：237人 昨対92.2% 令和7年度新規登録者：567人 昨対102.5% 【牧野】 ・まきの文化祭でポスティングを行う予定でしたが、6月まきの文化祭時に、参加団体と共同し、パンフレットに「ヨシタケシンスケパネル展」と図書館貸出カード登録案内記載のチラシを折りこみ、近隣小学校全児童に配布しました。（2500部） ・11月「四万十市立図書館交換展示」の告知と貸出カード登録案内を兼ねたチラシを作成し、ポスティングを実施しました。（1,200部） ポスティングチラシ持参の方にはオリジナルブックカバー（紙製、文庫版）をプレゼントしました。 上半期新規登録者：234人 昨対108.3% 下半期新規登録者：140人 昨対79.1% 令和7年度新規登録者：374人 昨対95.2%	3	図書館周辺地域へのポスティングによる利用案内や事業広報の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・ラーニングルームの情報等とあわせたスマート登録の周知。	3	【さだ】 ・ラーニングルームに関する新たな取組みが発生すれば、適宜にSNSを利用し、「X」で情報を発信しています。「X」から「さだ図書館HP」へ、「さだ図書館HP」から「スマート登録案内」へと周知できる仕組みを実施しています。また、「X」でのラーニングルームの情報発信の際、「スマート登録案内」もあわせて行っています。 【牧野】 ・ラーニングルーム空席情報発信を6月以降一日2回（13時、16時）に増やし継続して、「X」で発信しています。 ・10月以降、「X」のラーニングルーム空席情報から、「スマート登録案内」へと周知する仕組みを実施しました。	3	ラーニングルームの情報発信とスマート登録の案内実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・ラーニングルーム利用者を図書館へ誘導する取り組み。	3	【さだ】 ・9月ラーニングルーム内に「ひと休みBOOKコーナー」を設置しました。勉強や調べものの合間に気軽に手に取っていただき、少しでも本に興味を持ってもらえるよう、中高生向け書籍を中心に展示するなど、図書館利用につながる取組みを行いました。 ・「スマート貸出サービス」の案内POPをラーニングルーム内に掲示するなど、積極的に貸出を増やす取組みを行いました。 【牧野】 ・ラーニングルーム内にYA棚にある進路・進学コーナーの案内やYA向けスタンプラリー（「図書館マスターへの道」）のチラシを掲示して図書館利用のPRを行っています。ラーニングルームの使用後、図書館内のYA棚の本を手取る姿も見受けられました。 ・ラーニングルーム内に、YA世代が興味を持ちそうなバスファインダー6タイトル（進路・経済・SDGs【環境】・SDGs【食と食文化】・SDGs【ジェンダー】・スポーツ）を設置しました。バスファインダーを手にとった利用者が、興味がある本を図書館で借りやすい仕組みを実施しました。	3	ラーニングルーム利用者を図書館へ誘導する取り組みを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。ラーニングルーム利用者への声掛けも含め、今後も図書館利用につながる取り組みに期待する。

	・近隣の高校・大学への図書館の情報提供。	3	・さだ・牧野合同で、毎年新入学時期に図書館利用案内のチラシを作成し枚方市内の高校および大学（計16校、各30部）へ送付し、設置を依頼しています。 ・チラシの内容は、新規登録者向けの図書館カードの申込方法をはじめ、「スマート登録」や「ひらかた電子図書館」の案内、ラーニングルーム（自習室）やデータベースなど、資料以外の利用方法についても網羅しています。 また、各案内には二次元コードを付与し、スマートフォンからスムーズにアクセスできるよう工夫しています。 なお、令和7年度については、令和8年3月にチラシの送付を行いました。	3	近隣の高校・大学への図書館の情報提供について、取り組みの内容が確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
図書館の来館者を増やし、貸出冊数を増やすための取組みが提案されている（確認事項19）					
	・あらゆる年齢層に向けたニーズにあった特集展示。	3	【さだ】 ・児童・一般・分類展示・イベント連動展示・健康展示など、あらゆる年齢層に向けた6つのスポット展示を月替わりで実施しています。 ・職員がそれぞれがアンテナを張り、ニュースや情報番組、来館者の声を参考にして、話題の出来事や身近な課題解決、季節等をテーマとした展示を行っています。これら月替わりのスポット展示は大変好評で、多くの利用者が興味を持たれ、貸出冊数も増えています。 【牧野】 ・児童・YA・一般向けと対象年齢ごとにテーマを決めて特集展示を行っています。この他にも受賞、追悼等その時々話題を取り上げて特集展示を行っています。今年は大阪・関西万博が開催されていることから万博特集を組み、合わせて閲覧用の会場内地図、電子図書館で読めるみどころガイドの案内を設置しました。 ・月替わりの特集では「探していたイメージの本が見つかった」、「鉄道特集で興味が湧いてきた」等のお声をいただき、読書意欲を高めるきっかけにもなっています。 ・シニア世代の利用者向けに、1月「認知症を知ろう」、2月「習慣病」など、月替わりで健康展示を行っています。健康展示の近くには健康づくり課から配布されるチラシも置き、館内の健康に関するあらゆる情報が集まるハブとしての機能を果たしています。	3	両施設ともにあらゆる年齢層に向けた特集展示の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。特集展示は、利用者にとって思いがけない本との出会いの場を創出するきっかけのひとつとなるもので、次年度も精力的に取り組まれることを期待する。
	・司書の選定した特集展示だけでなく、外部のブックリストを積極的に利用して展示するなど、多様な切り口での本の紹介や、本の福袋の展開。	3	【さだ】 ・多様な切り口で本を紹介しようと、「秋の図書館まつり(読書週間)」に利用者から「あなたの推し本教えてください！」というタイトルでアンケートを実施しました。回答いただいた「推し本」はおススメコメントと一緒に展示しました。 ・本の福袋は準備数に対して、毎回すべて貸出となります。どんな本が入っているかわからないドキドキ感が利用者心理をくすぐるようです。 4月「春のおたのしみ袋」65袋 8月「こわいのはなしのおたのしみ袋」52袋 10月「秋のおたのしみ袋」100袋 1月「としょかん新春福袋」52袋 ・冊子「いくつかのえほん」のブックリストを利用して、集会室に年齢別に絵本を展示しています。 【牧野】 ・「お気に入りの一冊をあなたへ」では小中学生のお気に入りの本を誰かにすすめる読書推せん文の入賞作品を展示、色々なジャンルの本を紹介しました。 ・本の福袋は毎回楽しみにされている利用者も多く全て貸出となります。「自分では選ばない本と出会えてよかった」とのお声もいただき大変好評です。 「えほんのおたのしみ袋」は準備していた25袋が数日で貸出にでましたので追加で14袋を用意しました。 4月「えほんのおたのしみ袋」39袋 7月「子どものサマーギフト」45冊 1月「としょかん福袋」60袋 ・スタッフが作成するブックリストや毎年中央図書館が発行する「おすすめのコどもの本」などを積極的に利用して、「本を借りる動機」を創出しています。	3	人気事業である本の福袋等の実施及びブックリストを利用した展示を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・絶版本や過去の良書を提供する「復刻コーナー」（書庫資料の活用）の設置	3	【さだ】 ・「復刻コーナー」を常設で設置しています。さだ図書館が開館した昭和61年に発行された本や開館当時（昭和60年代）の雰囲気を感じられる本、そして、さだ図書館ならではの「蹉跎今昔いろはかるた」も展示しています。 【牧野】 ・「書庫の本コーナー」を常設設置しています。「1970年代」「絵本」「昭和100年」等、定期的にテーマを入れ替えて書庫の本を紹介しています。	3	復刻コーナーの設置及び書庫資料の活用を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・出版に造詣の深い出版社社長等を講師とする「お宝発見講座」（書庫資料の活用）の開催。	3	【さだ】 ・さだの貴重な書庫資料（昭和30年代～）でもある鉄道雑誌（鉄道ピクトリアル・鉄道ファン・鉄道ジャーナル）を活用し、2月に元鉄道会社・運輸教習所長を講師にお招きし、お宝発見！「鉄道おもしろ講座」を実施しました。定員16人 参加者12人 【牧野】 ・こども本の森 中之島の元館長（前川千陽氏）を講師にお招きし、「書庫の本 再発見講座」を2月に実施しました。普段利用者が入ることができない書庫に参加者が入り、気になる本を探していただきました。昔、本屋で見たが買えなかった本を見つけた参加者もいて、皆さん興味津々で書庫での時間を過ごされていました。その後、その本についての思いや感想を発表していただくなど、内容の濃い講座となりました。 定員20人 参加者9人	3	書庫資料を活用した講座の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・書庫案内を含めた「図書館見学ツアー」（書庫資料の活用）の実施。	3	【さだ】 ・2月に「図書館見学ツアー」を実施し、書庫や書庫資料を含めて、普段なかなか見ることのできない図書館の裏側を紹介しました。 定員12人 参加者8人 【牧野】 ・8月実施の「こども司書図書館のおしごと体験」の中で書庫を案内、年数の経過した古い本を保管することも図書館の大切な機能であることを知ってもらいました。定員4人 参加者3人	3	書庫の案内は、図書館への理解を深めるきっかけのひとつであり、図書館見学ツアーや図書館のおしごと体験の開催を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。

図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善に向けた取組みについて、具体的なアイデアが提案されている（確認事項20）					
	・書籍除菌機のリニューアル	3	・除菌機を継続して設置しています。 4～9月実績：さだ 3,893件（昨対94.8%） 牧野 3,899件（昨対87.7%） 10月～3月実績：さだ 3,652件（昨対101.2%） 牧野 3,223件（昨対79.5%） 令和7年度年間実績：さだ 7,545件（昨対97.8%） 牧野 7,122件（昨対83.8%）	3	書籍除菌機は令和 5 年度にリニューアルされており、効果的に活用されていることが確認できたもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営していると判断できる。
	・動画の活用も含めたデジタルサイネージによる情報発信。	3	・デジタルサイネージを継続して設置しており、それぞれの館の最新イベント情報やデータベース利用案内、そして施設利用案内やひらかた電子図書館の利用案内、市からのお知らせ等を随時情報発信しています。 ・動画の活用に関しましては、さだでは「自動貸出機の使用事例」や「電子図書館の利用方法」、牧野では「おはなし会」などイベントの様子などを撮影した動画をデジタルサイネージで、定期的に情報発信し、施設利用を促進しています。	3	動画の活用も含めたデジタルサイネージによる情報発信の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・自然音を活用した快適な空間づくり。	3	・1 Fロビーで開館前から午前中にかけて、読書や自習の合間にリラックスしてもらえるよう自然音（小鳥のさえずり・川のせせらぎ）を流し、耳で感じる癒しの空間を演出しています。	3	両施設ともに継続した取り組みであり、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されているものと判断できる。引き続き利用者にとって居心地のいい環境づくりに努められたい。
	・観葉植物を配置し、空間に潤いを持たせる環境づくり。	3	・図書館内やラーニングルーム内に観葉植物を配置し、目で感じる癒しの空間を演出しています。	3	観葉植物の配置により空間に潤いを持たせる環境づくりの取り組みを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・状況に合わせた館内レイアウトの変更など、来館者の居住性を高める取り組み。	3	【さだ】 ・利用者の導線に合わせて、入口付近に新着本や健康展示、話題の本シリーズを展示しています。また、暮らしや生活に関する実用書を入口近くに別置しています。配架図を更新し、書架の面展示を増やすことで、目的の本を探しやすい館内レイアウトにしています。面展示は100冊以上行っており、新たな本との出会いのきっかけ作りをお手伝いしています。利用者には、大変好評で、書架が見やすい、本が取りやすいと言ったご意見もいただいています。来館者の居住性を高め、滞在時間が長くなるような図書館を心がけています。 ・乳幼児とその保護者の来館を促す施策、居住性を高める取り組みとして、館内集会室に0～3歳向けの絵本、大型絵本、知識絵本、季節の絵本、大人の絵本コーナーを継続して設置しています。 【牧野】 ・書架への差し込み見出しにストッパーを付け、棚から落下しにくいよう整備を進めています。 ・IC化（自動貸出機・予約照会機）により既存の機器、備品の移動やカウンター周りの整備を行いました。	3	見出しの落下防止策や適宜館内レイアウトの整備を行っていることを確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス等について具体的なアイデアが提案されている（確認事項21）					
	・市民の課題解決をサポートするデータベースイベントの実施。	3	【さだ】 ・2月に「図書館見学ツアー」を実施しました。参加者に、問題解決のツールとして、データベース「ヨミダス」の体験をしていただきました。本の貸出しだけが 図書館サービスではなく、データベースも活用いただけることを今後も引き続き周知していきます。 定員12人 参加者8人 【牧野】 ・8月図書館活用術「情報の調べ方教えます」の中で牧野所蔵の「ジャパナレッジ」の使い方を紹介する予定でしたが、参加者は0人でした。今後も講座の対象層を検討しながら、データベースの活用周知に努めていきます。 ・2月に「ジャパナレッジを使ってクイズを解こう！」を実施しました。参加者にクイズを選んでもらい、ジャパナレッジを操作してクイズの解き方を見せつつ、ジャパナレッジの仕組みについて説明しました。 参加者 9人	3	両施設ともにデータベースの利用体験を組み込んだイベントの実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。今後も、データベースの周知を目的としたイベントの開催に期待する。
	・健康、子育て、LLブック、枚方市施策事業等、市民の課題解決につながる展示コーナー設置。	3	・やさしく読みやすい本の「LLブックコーナー」、「子育て関連本コーナー（さだ：子育て・育児コーナー、牧野：子育て応援コーナー）」を継続して設置しています。 【さだ】 ・毎月月替わりで、市民の健康をテーマにした展示コーナーを設置しました。4月「アレルギー」、5月「メンタルヘルス～心の健康～」、6月「口の健康見直してみませんか？」、7月「足腰を鍛えよう！！」、8月「食べて飲んで夏をのりきろう！」、9月「認知症」、10月「ストレッチ・ヨガ」、11月「漢方・薬膳・薬」、12月「睡眠」、1月「認知症」、2月「目・耳」、3月「健康法」健康に関する本は貸出も多く、返却の際、本を読んで痛みが解消されたという嬉しいお声もいただいています。 ・子育て・育児コーナーは関連本をお母さんお父さんに気軽に手に取っていただけるように工夫しています。 ・毎月月替わりのミニ展示（分類展示）コーナーでは、4月であれば4類（自然科学）の本、5月であれば5類（技術・工学）の本からテーマを考え展示をしています。少しでも市民の課題解決につながるきっかけとなる展示を行っています。 【牧野】 ・LLブックは現在所蔵本の続巻の選書を実施しました。子育て応援コーナーについては、今年度新刊を選書・受け入れし、内容の充実を図りました。 ・子育て応援コーナーには子育て関連のチラシ設置やポスター掲示を行い活用していただいています。 ・健康に特化した「いきいきコーナー」では「気象病・季節病」「目」「姿勢」等をテーマとして取り上げており、人気も高く、貸出も多い展示コーナーです。健康に関しての知識が増えた、参考になった等の利用者からのお声もいただいています。 ・2月には、枚方市食育事業と連動させて、「食育展示」を行いました。	3	市民のニーズに合わせた様々なテーマの展示コーナーの設置を確認したもので、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。特に健康展示においては、こまめに展示替えを行うことで利用者の関心を引き、好評である。コーナーへの配架に係る選書はスタッフのスキルアップにもつながるものであり、次年度の実施にも期待する。
	・市民の生涯学習に資するパスファインダー作成。	3	・現在配布しているパスファインダーは随時更新を行いました。 【さだ】 ・昨年発行したパスファインダーvol.1「蹊跼について調べる(歴史・地名編)」に引き続き、パスファインダーvol.2「光善寺のサイカチの木について調べる」を10月に発行、パスファインダーvol.3（YA向け）「仕事・職業」を3月に発行しました。 【牧野】 ・9月にパスファインダー「まきのコンパスvol.3 防災について調べる」を発行しました。 ・1月にパスファインダー「まきのコンパスvol.4 認知症について調べる」を発行しました。	3	新たなパスファインダーの作成及び発行済のパスファインダーの随時更新を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。

(1) 事業提案（生涯学習市民センター）					
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習市民センターの活性化や利用者数の増加につながるような自主事業が具体的に提案されている（確認事項22）					
	・利用者の声を反映させた事業	3	・講座後アンケートや利用者セルフモニタリングにより収集した意見をもとに、事業を実施しています。 【さだ】 ・「子どもが楽しめるイベントを」のお声から 8月「さだマルシェ in summer」 参加者約250人 マルシェ内では気軽に参加できるワークショップをいくつか開催しました。 ・「植物と触れ合う講座」を希望されるお声から 9月「苔テラリウム講座」定員20人 参加者23人 ・「相続・遺言の講座」を希望されるお声から 9月「エンディングノート講座」定員20人 参加21人 ・「健康に関する講座を」のお声から 4月「発酵食品と健康」定員50人 参加者51人 6月「宇治茶の講座」定員20人 参加者19人 7月「ハーブティー講座」定員20人 参加者6人 【牧野】 ・「昨年大好評であった地元の有名人をまた呼んでほしい」というお声から 4月「りょう ものまねヒットパレード」定員240名 参加者235名 ・「ハンドメイドを体験したい」というお声から 6月「海洋プラスチックアンプレーマーカー」定員8名 参加者8名 ・昨年実施したウクレレ講座を「もう一度やってほしい」とのお声もあり 8月「子どものためのウクレレ Vol.3」定員6人 参加者9人 ・「健康に関する講座」をとシニア世代のお声から 3月「バランス感覚を養う！座ってらくらく体操教室」 定員15人 参加者13人 ・「金融について知りたい」のお声から 3月マナビスト講座「近畿財務局から学ぶ 知って役立つ金融と財政」 定員20人 参加者17人 【北分館】 ・館内の装飾で、「折花を作ってみたい」「家に飾りたい」とのお声から 5月「春を楽しむ 紙の生け花レッスン」定員20人 参加者17人	3	利用者の声を反映させた事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・市民の自主的な活動のきっかけづくりのための事業	3	【さだ】 ・7月「和太鼓ミニコンサート＆体験会」を実施しました。 和太鼓人口の減少を懸念する団体からの相談を受け、和太鼓の魅力を広く周知するとともに、実際に体験してもらうことでサークルの活性化につなげることを目的として開催しました。 【牧野】 ・昨年度団体化をしたウクレレ団体の支援を目的とし、8月に「子どものためのウクレレ Vol.3」を開催しました。	3	市民の自主的な活動のきっかけづくりのための事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域活性化・地域課題解決を目的とした市民との協働事業	3	・地域の人々が集い・交流する「さだ若葉まつり」「まきの文化祭」を開催し地域活性化を目指しています。 【さだ】 ・1月「さだクリーンデー」を恒例事業として継続実施し、清掃活動を通して、職員と利用者のコミュニケーションを深めるとともに、地域の環境・治安の向上を目指しています。 ・3月「みんなで考えるSDGs！」を実施。SDGsに関するパネル展を行いました。あわせて、ペットボトルキャップを回収活動を実施し、回収したペットボトルキャップ2,968個を、ワクチン支援に繋がる団体へ寄付しました。 【牧野】 ・8月「リサイクル博士になろう」では、環境を意識したSDG sについて学び知る講座として実施しました。	3	地域活性化・地域課題解決を目的とした市民との協働事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・構成企業独自のノウハウを活かした講座・事業、従来の企画や新たな工夫を行い、若年層の参加促進の実施	3	・指定管理者が運営する公共施設において、他施設で人気の講座や専門人材を活用し、多様な事業を実施しました。これにより、市民の学習機会の充実と施設間連携を図ることができました。 【共通】 ・指定管理者が運営する他の公共施設で人気の講座を実施 3月「ロボットハンドをつくろう！」さだ・牧野で同日開催 ロボットハンドの製作を通して、リンク機構や機械装置の仕組みについて学びもののづくりの楽しさや奥深さを体験してもらうことができました。若年層の参加者とその保護者から多くの満足の声をいただきました。 定員8人/参加7人【さだ】 定員8人/参加7人【牧野】 【さだ】 ・9月「苔テラリウム講座」定員20人 参加者23人 定員を上回る参加があり、関心の高さがうかがえる結果となりました。 【牧野】 ・指定管理者が運営する公共施設の学芸員を講師に招き実施 8月「古代のナゾにせまる！紙粘土でハニワづくり」 定員20人 参加者20人 ・指定管理者が運営する他施設で活動していた講師を招き、講座を実施しました。専門性の高い内容でありながら、安定した参加者数を確保することができました。 11月「西洋占星術を学ぶ講座」定員12人 参加者12人	3	構成企業独自のノウハウを活かした講座・事業の実施により、若年層の参加促進につながっているため、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
ウィズコロナの観点から、SNS・動画配信サービス等を活用した具体的な事業が提案されている（確認事項23）					
	・他センター、自宅などからも参加可能な、サテライト講座の実施	3	・他センターからも参加可能なサテライト講座として、指定管理者が運営する他施設とオンラインで接続し、文化財の専門家による講座を実施 【さだ】 ・2月「盗まれる仏像-その背景と対策-」定員15人 参加者12人	3	他センターからも参加可能なサテライト講座を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・撮影・録画・配信などを活用したオンライン講座の実施（受講者への案内も実施）	3	・配信後のアーカイブ保存による再視聴を前提に事業を実施しましたが、講師の録画・配信に関する意向を踏まえ、実施を見送ることとなりました。	3	講師の意向により最終的に実施には至らなかったが、アーカイブ配信を前提とした事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・公式SNSや地域メディアとタイアップを行い、効果的な情報発信	3	・ホームページ、YouTube、X、Instagram、Facebookの各種媒体を活用し情報発信を行いました。 ・講座に関連する専用サイトの活用や、関連商店等へのチラシ設置を依頼しました。 【牧野】 ・情報サイト「ひらかたつーしん」へのイベント紹介記事の掲載を依頼し、まきの文化祭が掲載されました。 ・読売新聞にて「人形劇フェスティバル」の告知記事が掲載されました。	3	公式SNSや地域メディアでの情報発信を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項24）					
	・季節ごとの連携事業の実施	3	【さだ】 ・8月「夏の映画上映会」定員100人 参加者80人 ・8月「さだ納涼怪談2025」定員40人 参加者45人 ・12月「さだクリスマスフェスタ 2025」定員114人 参加者100人 ・1月「絵本のなかのお菓子作り」定員16人 参加者15人 【牧野】 ・12月「マッキーのナゾときツアー！～マッキーサンタのクリスマスだいさくせん～」参加者154人 ・2月「みんなでつくる大きな本の木」を実施しました。バレンタインの時期に合わせ、来館者に"愛と友情"をテーマにした自身のおすすめの本をPOPに書いてもらい、それらを展示することで、新たな本との出会いや市民同士の交流を創出しました。参加者39人 【北分館】 ・5月「まるごとじゃがいも」定員8人 参加7人	3	季節ごとの連携事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・実施講座やサークル活動に関連する本の展示や紹介	3	・センター自主事業時には部屋出入口前に関連本を展示。講座中に展示本の紹介を行っています。 ＜展示した事業例＞ 【さだ】 「夏休み映画上映会」「さだ納涼怪談2025」 【牧野】 「まるごとじゃがいも」「イラストで作る、私たちの綺麗な海」「忙しいあなたの時短家事＆お片付け講座」「親子で万博！紹介トークイベント」「古代のナゾにせまる！紙粘土でハニワづくり」「家電リサイクル博士になろう」「整理収納アドバイザーによるお片付けセミナー」「もっと知りたい枚方市の取組み～手話言語について～」」「はじめての西洋占星術講座」「枚方市の郷土料理「ごんぼ汁」作り」「近畿財務局から学ぶ 知って役立つ金融と財政」	3	実施講座に関連する本の展示や紹介をしており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・センター利用者へ向けた図書館利用促進イベント、講座、講演会の開催	3	【さだ】 ・5月センター主催「さだ若葉まつり」において、「えほんのひろば&出張おはなしかい」をプレイルームで実施しました。参加者156人 ・8月センター主催「さだマルシェ in summer」において、「出張おはなしかい」をホール内で実施しました。参加者18人 ・12月「さだクリスマスフェスタ」において、「えほんのひろば・おはなしかい」をセンター和室で実施しました。参加者75人 イベントにあわせて図書館カード登録会も実施し、普段あまり図書館を利用されていない方に向けて、図書館に親しみを持っていただき、図書館利用促進に努めました。 【牧野】 ・6月まきの文化祭ミニステージで読み聞かせと図書館の利用案内を行いました。ミニステージでは図書館の「おはなし会」や、図書館サービスの一つである「ひらかたブックダイアリー」を紹介し図書館に関心を持ってもらうことに努めました。 ・11月センター利用者に向けて、1フロアにて、枚方市の友好都市である高知県四万十市にある四万十市立図書館と図書館交換展示を実施しました。四万十市の魅力を発信するパネル展で、センターを利用する多くの利用者が、興味深げに見ていました。準備していた19種類のパンフレット類はほぼ無くなり、枚方市の友好都市を知っていただく良い機会になりました。	3	センター利用者へ向けた図書館利用促進イベントを開催しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・センターの諸室を利用したブックイベントや図書館に関連したテーマの講座や講演会の開催	3	・センター諸室を利用する際には、イベントと関連する書籍も会場内に展示し、イベント参加者の貸出し促進につなげています。 【さだ】 ・4月バリアフリー対応映画上映会「おしりたんていさらば愛しき相棒よ」：ホール使用 定員50人 参加者43人 ・4月地域歴史講座「広重が描いた淀川舟運」：第2集会室使用 定員16人 参加者11人 ・6月「大人のためのおはなし会」：第5集会室使用 定員16人 参加者12人 ・8月「こわいはなしのおはなしかい」：和室使用 定員20人 参加者25人 ・9月「図書館活用術～電子図書館体験会～」：第2集会室使用 定員なし 参加者7人 ・10月「初心者向けくずし字講座（連続4回講座）河内名所図会を読む～茨田郡編～」：第2集会室使用 定員16人 参加者延べ59人 ・11月「本と雑誌のリサイクル市」：ホール使用 定員なし 参加者329人 【牧野】 ・5月「初心者向けくずし字講座（連続4回講座）「河内名所図会」を読む～茨田郡編～」：第3集会室使用 定員24人 参加者延べ72人 ・5～9月「朗読を楽しむ講座（連続5回講座）」：第3集会室使用 定員10人 参加者延べ47人 ・6月お金の講座「リタイア前後に知っておきたいお金の話」：第3集会室使用 定員20人 参加者8人 ・2月にホールで行った「本とあそびのひろば in まきの」では、子ども向けおはなし会(参加者 7人)と大人向けおはなし会(参加者13人)科学実験講座「色のひみつを探ろう」（参加者43人）を実施しました。 ・2月「書庫の本再発見講座」：第3集会室使用 定員20人 参加者9人	3	センターの諸室で図書館に関連したテーマの講座等を開催しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

牧野北分館の調理室・和室の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている（確認事項25）					
	・利用方法の提案・広報の拡大	3	・YouTubeやSNSを活用し、諸室の利用方法や施設紹介、イベント情報の発信を行っています。具体的には、動画による施設案内や講座の紹介、イベントの事前告知・実施報告などを随時投稿し、来館前に利用イメージを持ていただけるよう工夫しています。また、SNSではタイムリーな情報発信を行うことで、幅広い世代への周知と利用促進につなげています。 ・参加者同士が気軽に交流し、新たなつながりを生む機会の提供を目的としたイベントを開催しました。 6月「コミュニティカフェ 大人のテーブルゲームの会」定員20人 参加者9人	3	SNSを活用した情報発信や参加者同士が交流し、つながりを生むイベントを実施することで利用方法の提案・広報の拡大を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・調理室での定期的な料理教室や施設の特性に合わせたイベントなど、定期イベント・講座の実施	3	・図書館の蔵書から得られる知識をもとに、野菜の育成や収穫後の調理方法に興味を持っていただく、新しい体験型の食育事業を実施しました。 ・5月「まるごとじゃがいも」定員8人 参加者7人 ・2月「枚方市の郷土料理「ごんぼ汁」作り ～歴史から郷土料理を学ぶ～」参加者の過半数が北分館に初めて来館されており、「今後は団体でも部屋を利用したい」との声をいただきました。定員6名 参加者5名 ・3月「珈琲入門講座 ～カフェ 店主に学ぶ、淹れ方のコツ～」初めて北分館に来られた方が多く、施設の認知向上につながりました。 午後（13時・15時）の2回開催 各回とも定員8人/参加8人	3	料理室を活用したイベントを実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・無料開放の定期実施	3	・1月に「牧野新春！書初め」を2日間実施し、利用率の低い和室を開放することで認知向上と利用促進を図りました。 ・今後も利用者のニーズを踏まえ、施設の有効活用と利用促進に努めていきます。	3	利用率の低い諸室の無料開放を実施し、認知向上及び利用促進を図っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者からの要望を反映	3	・講座時や利用者アンケートでご要望の多かった事業を行っています。 5月「春を楽しむ 紙の生け花レッスン」定員20人 参加者17人 11月「非常食から考える防災」定員10人 参加者10人	3	利用者からの要望を反映した事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
生涯学習市民センターの夜間の利用者数の増加に向けた事業等が具体的に提案されている（確認事項26）					
	・夜間の空き室を利用した講座などの自主事業を実施	3	【さだ】 ・4月「お味噌汁で健康生活！」定員16人 参加者15人 ・5月「骨を守るカルシウム講座」定員16人 参加者13人 ・11月「お家で楽しいパン作り」定員16人 参加者16人 【牧野】 ・4月「忙しいあなたの時短家事＆お片付け講座」定員20人 参加者26人 ・11月「西洋占星術を学ぶ講座」定員12人 参加者12人	3	夜間の空き室を利用した講座などの自主事業を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・知名度の高い講師の講座・イベントの実施	3	【さだ】 ・2月「パスタで旅するイタリア」定員20人 参加者19人 【牧野】 ・4月「りょう ものまねヒットパレード」定員240人 参加者235人 ・7月「親子で万博！紹介トークイベント」定員60人 参加者12人 ・12月「元タカラジェンヌと歌うクリスマス会」定員60名 参加者17人 ・2月わたなべゆう×初田悦子ジョイントコンサート 定員60人 参加者46人	3	知名度の高い講師の講座・イベントを実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・ビジネス層や学生を対象とした、資格取得などを目的とした講座・イベントの実施	3	【さだ】 ・2月「コミュニケーション講座」を実施 定員20人 参加者20人 【牧野】 ・1月「美文字講座」（1回目）定員20人 参加者14人 ・2月「美文字講座」（2回目）定員20人 参加者13人	3	ビジネス層などを対象に、資格取得や自己啓発などを目的とした講座を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

(オ) 事業提案（図書館）					
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業が提案されている（確認事項27）					
	・乳幼児向けおはなし会の開催及びブックリストの作成。	3	【さだ】 ・乳幼児向けおはなし会「すくすくおはなしかい」は4月から9月までは毎月第1・3水曜日、10月からは毎月第2・4水曜日に実施しています。 ・4月には乳幼児向け「春のすくすくおはなしかいスペシャル（ひらかた絵本まつり）」を実施しました。 ・11月には乳幼児向け「秋のすくすくおはなしかいスペシャル」を実施しました。 上半期実績（4～9月）実施回数計12回、参加者50組103人 下半期実績（10～3月）実施回数計12回、参加者53組108人 令和7年度年間実績 実施回数24回、参加者103組211人 ・2月に赤ちゃん向けブックリストを発行し、継続設置しています。 【牧野】 ・乳幼児向けおはなし会「親子でたのしみおはなし会」を毎月第3水曜日に実施しています。 上半期実績（4～9月）実施回数5回、参加者6組15人 下半期実績（10～3月）実施回数5回、参加者16組35人 令和7年度年間実績 実施回数10回、参加者22組50人 ・ひらかた絵本まつりで乳幼児から楽しめる行事を実施しました。 「あつまれ！みんなのこいのぼり（ぬりえ）」参加者49人 「青空おはなし会」参加者23人 ・2月に赤ちゃん向けブックリストを発行し、継続設置しています。 ・3月に「育児 de おはなしタイム」を実施。育児専門家の講師を招き、「育児で大切なこと」、「子どもとは？」などについてお話いただく。絵本の読み聞かせや手遊びで親子のふれあいを楽しんでもらうと同時に、参加者同時の交流も生まれました。参加者5組9人	3	乳幼児向けおはなし会の開催及びブックリストの作成を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・絵本専門士によるおはなし会の開催。	3	【さだ】 ・1月「すくすくおはなしかい絵本専門士スペシャル」を実施しました。 定員なし 参加者6組13人 【牧野】 ・3月に親子でたのしみおはなし会のスペシャル企画として、「絵本専門士によるおはなし会」を実施しました。講師から「絵本の読み聞かせが子どもにとってなぜ良いのか」などを話していただき、親子で絵本の魅力にふれ、家庭での読書習慣をおすすめしました。参加者6組16人	3	絵本専門士によるおはなし会の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。事業を実施する際には新規登録者の拡大にもつながるような工夫も検討されたい。
	・ぬいぐるみのとしょかんおとまり会や読書シートの配布、図書館や本に関するクイズ形式のイベント開催。	4	・さだ・牧野・香里ヶ丘3館制作の読書シートの配布を継続しています。 ・ひらかたブックダイアリーの配布も積極的に行っています。 ・さだと牧野の両館で実施した「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」では、いつもお家で一緒に過ごしているお気に入りぬいぐるみと図書館のおはなし会に参加し、子どもたちは、図書館にぬいぐるみを寝かしつけて帰宅します。ぬいぐるみたちは夜の図書館を冒険したり、子どもたちに読んでほしい絵本を探したりして、一晚過ごします。翌日、子どもたちがお迎えに来た時に、夜の図書館で冒険しているぬいぐるみの写真とぬいぐるみが選んだ絵本を借りて帰る内容で、子どもたちにとって大変満足度の高いイベントでした。「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」をきっかけにして、図書館に親しみを持ってきて、他のイベントにも参加してくれる子どもたちも増えました。図書館スタッフも子どもたちとコミュニケーションを取ることで、本に興味を持ってくれるようになり、貸し出しにもつながっていききました。 【さだ】 ・10月「ぬいぐるみの図書館おとまり会」を実施しました。 定員10組 参加者8組16人 ・2月に実施した「図書館見学ツアー」では図書館クイズを交えながら、参加者に楽しんでいただきました。定員6人 参加者8人 【牧野】 ・11月「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会」を実施しました。定員5組 参加者4組8人 ・12月「マッキーのナゾときツアー！～マッキーサンタのクリスマスだいさくせん～」を実施しました。参加者154人	4	ぬいぐるみの図書館おとまり会は、ぬいぐるみにおすすめの本を選んでもらうなどのストーリー性をもたせることで、子どもの想像力を育て、本や図書館への親しみを持たせるイベントとなっており、参加者の満足度が高く、その後の図書館利用促進に直結していることから、計画以上の良好な運営を行っていると判断できる。また、読書シートの配布、クイズ形式のイベント実施は本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・子どものための図書館活用講座の開催や一日司書体験の実施。	3	【さだ】 ・3月「図書館で働いてみよう！1日図書館司書体験講座」を実施しました。 定員6人 参加者9人 【牧野】 ・8月「こども司書 図書館のおしごと体験」を実施しました。 定員4人 参加者3人	3	子ども向け司書体験講座の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。

	・工作やプログラミング教室、天体観測などのイベントの実施。	3	【さだ】 ・未就学児にも簡単に参加していただける工作イベント「ぬりえ・おりがみで楽しもう！」を毎月月替わりで実施しました。 4月「おりがみでおおきなこいのぼりをつくろう！」参加者258人 5月「SDGs廃食油でつくったクレヨンでぬりえをしよう！」参加者164人 6月「ぬりえやおりがみで「梅雨」を楽しもう！」参加者540人 7月「ぬりえで「海の日」を楽しもう！」参加者320人 8月「おりがみで「山の日」を楽しもう！」参加者300人 9月「うさぎのおりがみでおおきなおつきさまをつくろう！」参加者249人 10月「おりがみで「ハロウィン」を楽しもう！」参加者338人 11・12月「クリスマスツリーを「ぬりええのオーナメント」で飾ろう！」参加者454人 1月「ぬりえで新年をお祝いしよう！」参加者248人 2月「折り紙で「ひな祭り」を楽しもう！」参加者350人 3月「おりがみ&ぬりえで「春・桜の季節」をお祝いしよう！参加者349人 ・おはなしかいスペシャルとして、おはなし会と一緒に工作教室を実施しました。 4月「春のすくすくおはなしかいスペシャル」では、「走るうさぎ」の工作教室を実施しました。参加者9人 5月「こどもの日おはなしかいスペシャル」では、「手作りギフトカード」の工作教室を実施しました。参加者12人 11月「秋のすくすくおはなしかいスペシャル」では、「いないいないばあ人形」の工作教室を実施しました。参加者24人 12月「クリスマスおはなしかいスペシャル」では、「紙コップでクリスマスツリー」の工作教室を実施しました。参加者13人 3月「春のおはなしかいスペシャル」では、「おりがみで作るお花」の工作教室を実施しました。参加者15人 ・9月「小学生向けプログラミング講座 ロボットこくりのプログラミング教室」定員10人 参加者17人 ・天体観測については、施設内での場所の確保が難しく、代案イベントを検討し、実施していきます。今期に関しては工作イベントを拡充して実施しました。 【牧野】 ・7月「SDG s 夏休み工作会 リサイクルで〇〇できた！」を実施しました。定員20人 参加者11人 ・令和8年1月「小学生向けプログラミング講座」実施しました。定員5人参加者4人 ・5月、8月、11月、令和8年1月と年4回実施した「おりがみのおはなし会」では、その季節の絵本に出てくるアイテムのおりがみを折って子どもたちと楽しみました。参加者24人（8月アイスクャンディのおりがみなど） ・5月「スペシャルおはなし会」では、フリスビーの工作を楽しみました。参加者12人 ・令和5年度に北分館で実施した天体観測については、会場確保の課題があることから、今後は星空に関連し、子どもの読書活動を意識した新たな企画を検討し、実施に向けて 取り組んでいきます。	3	工作を中心とした事業の実施は、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。天体観測については、プラネタリウムの利用も検討し、今後の実施に向けて準備に努められたい。
	・SDG s ボードゲームの活用。	3	【さだ】 ・2月「SDGsおはなしかい」を実施しました。SDGsをテーマにした読み聞かせの後、SDGs17の目標に関するテーマが書かれた「かるた」を使用して、楽しみながらSDGsについて学びました。参加者6人 【牧野】 ・1月「かるたで学ぼうSDGs」を実施しました。SDGs17の目標に関するテーマが書かれた「かるた」を使用して楽しみながらSDGsについて学びました。参加者5人	3	SDG s ボードゲームの活用イベント実施について確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・定例以外のおはなし会の開催。（外国語のおはなし会、こわいおはなし会、折り紙おはなし会など）	3	【さだ】 ・5月「こどもの日おはなしかいスペシャル」では、電子書籍をスクリーンに投影し、スクリーンの流れる映像に合わせて、読み聞かせを行いました。参加者12人 - また、「さだ若葉まつりえほんのひろばおはなしかい」では、センター 2 階プレイルームに200冊のえほんを並べ、えほんのひろばを開催しました。参加者から依頼の都度、その場で読み聞かせを行いました。参加者45人 ・8月「こわいおはなしのおはなしかい」では、いつもの読み聞かせに加え、電子図書館から音声付の動く絵本をスクリーンに映し出し、上映しました。参加者25人 【牧野】 ・4月「青空おはなし会」参加者23人 ・5月「おはなし会スペシャル（おはなし会とカンタン工作）」参加者12人 ・5月、8月、11月、1月「おりがみおはなし会」参加者5月7人、8月10人、11月2人、1月5人 合計24人 ・8月「おばけのおはなし会」参加者9人 ・10月「外国語のおはなし会エホンピア」参加者10人 ・12月「クリスマスおはなし会」参加者10人	3	電子図書館を活用したおはなし会や、外国語のおはなし会など、定例以外のおはなし会の実施は、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・ヤングアダルトに向けた働きかけとして、進路・進学資料の充実や機関紙・パスファインダー・ブックリストの発行。	3	・さだ・牧野図書館合同で、季節ごとに年4回（4・7・10・1月）ティーンズ機関紙「Highjunior Sada Maki」を発行しています。この機関紙では、中高生向けおススメ本紹介、「ひらかた電子図書館」のおススメ電子書籍や読売中高生新聞記事などの情報を発信しています。 【さだ】 ・9月ラーニングルーム内に「ひと休みBOOKコーナー」を設置し、中高生向け進路・進学関連資料も展示しております。勉強や調べものの合間に、少し先の将来を考えるきっかけになればとお手伝いさせていただいています。 ・3月にYA向けパスファインダー「仕事・職業」を発行しました。 【牧野】 ・YA棚に設置の進路・進学資料を新鮮に保てるよう選書を行っています。合わせてラーニングルーム内の進路・進学コーナーの棚位置を示したPOPを掲示、利用を促しています。 ・YA向けパスファインダーを3月に、新テーマで、⑤進路と⑥SDGs【ジェンダー】を発行しました。これで6タイトルのパスファインダーを作成し、設置しています。 （①経済・②SDGs【環境】・③SDGs【食と食文化】・④スポーツ） ・YA棚内に特集展示リストをバックナンバーとともに設置しています。	3	ヤングアダルト世代に向けたパスファインダーの作成や両施設共有の機関紙の発行などの取り組みは、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。既に発行済のパスファインダーについては、更新も意識した取り組みに期待する。

	・ヤングアダルト世代が発信する場の提供。	3	【さだ】 ・ラーニングルーム内の「ひと休みBOOKコーナー」に、利用者ご自身のおススメ本や思い出の本、あるいは自由な発想でのイラストやポエムを投稿していただける「おたよりポスト」を設置しています。投稿いただいた作品はティーンズ機関紙「Highjunior Sada Maki」に掲載を予定していましたが、残念ながら令和7年度は投稿はありませんでした。引き続きYA世代に興味を持ってもらえるよう創意工夫をしていきます。 【牧野】 ・YA棚およびラーニングルーム内に、おすすめ本紹介の記事を投稿できるポストを設置しています。投稿された内容は、おすすめ本とあわせてYA棚に展示し、YA世代の発信の場として提供しています。しかしながら、令和7年度は投稿がありませんでした。今後は、YA世代に興味を持ってもらえるよう、引き続き創意工夫に努めていきます。	3	ヤングアダルト世代が発信する場の提供について、ラーニングルームやYA棚の活用などは、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。次年度はヤングアダルト世代によるポストへの投稿を促す工夫に期待する。
一般成人を対象とした図書館読書推進事業が提案されている（確認事項28）					
	・大人向けのおはなし会・朗読会の開催。	3	【さだ】 ・6月「大人のためのおはなし会」を実施しました。定員20人 参加者12人 プログラムの中心であったストーリーテリングは、耳で聞く読書とも言われ、参加者の想像力を刺激して、満足度の高いおはなし会となりました。 【牧野】 ・10月「大人のための朗読発表会＆朗読会」実施しました。定員20人 参加者12人 ・5～9月実施した「朗読を楽しむ講座」は、5月8日、6月12日、7月10日、8月7日、9月11日と計5回開催しました。参加者延べ47人 ・8月22日と3月25日の計2回「ゆる～い読書会」を実施しました。参加者延べ5人	3	大人向けのおはなし会・朗読会の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・地域歴史講座の開催。	3	【さだ】 ・4月「地域歴史講座『広重が描いた淀川舟運』」定員16人 参加者11名夜間講座（18時30分～）ということもあり、参加者は幅広い年代層でした。歴史背景に関して、講座終了後も講師との質疑応答も活発で、参加者には満足度の高い講座となりました。 【牧野】 ・3月「第13回 地域歴史講座」実施しました。今回は「町人の町と言われる大坂、江戸時代は枚方地域は誰が治めていたのか」をテーマに講師よりお話しいただきました。定員30人参加者27人	3	地域歴史講座の実施は、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。さだ図書館は図書館利用の少ない時間帯の開催になったが、参加者の満足度も高かった。今回の取組が次の事業につながることを期待する。
	・イラストレーター、絵本作家の原画・パネル展の開催。	3	【さだ】 ・8月枚方市在住アマチュアカメラマン京本写楽さんによる「くらわんこ・京阪電車写真展」を実施しました。 ・3月「絵本作家五味太郎『ぼくのふね』パネル展」を実施しました。 【牧野】 ・6月「ヨシタケシンスケ『まてないの』パネル展」を実施しました。まきの文化祭 2日間来場者 延べ828人	3	イラストレーター・絵本作家の原画・パネル展の実施は、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・バリアフリー映画上映会の開催やSDG s の目標実現に向けた講座・特集展示の実施。	3	【さだ】 ・4月「バリアフリー対応「おしりたんていさらば愛しの相棒よ」映画上映会」定員50人 参加者43人 ・5月「SDGs廃食油でつくったクレヨンでめりえをしよう！」参加者164人 イベント運動展示「SDGsについて知ろう」というタイトルの特集展示も実施しました。 ・6月「家庭の廃食油リサイクルパネル展」をセンター2階のアート・スペースで実施しました。 ・また、環境月間にあわせて、「SDGs地球のために一人ひとりができること」をテーマに特集展示を実施しました。 ・4～6月にわたり約2か月間にわたり、「SDGs」を周知する取組みを行いました。 【牧野】 ・2月バリアフリー映画上映会「西の魔女が死んだ」を実施しました。参加者38人 ・12月に「SDG s 」を身近に感じてもらえるよう特集展示と1月に「かるたで学ぼうSDGs」を実施しました。参加者5人	3	バリアフリー映画会やSDG s 関連の取り組みの実施は、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・枚方市にゆかりのある都市との交換展示。	4	・10～11月、さだと牧野両館で高知県四万十市にある四万十市立図書館との図書館交換展示を実施しました。50年以上にわたり、友好都市提携している枚方市と四万十市、それぞれの歴史、文化、観光など様々な分野に関する情報をパネル展示。観光パンフレット等の地域資料をお互いに交換して展示・配布し、相互理解を深める内容となり、センターと図書館の利用者に枚方市の友好都市を知っていただく良い機会になりました。 館内では期間中に「四万十川」や高知県に関連する資料を展示コーナーを設置したところ、交換展示会場を見た多くの利用者に興味を持っていただき、貸出につながりました。	4	枚方市にゆかりのある都市との交換展示の実施は、地域資料を有効活用することで相互的に四万十市・枚方市の理解を深めたものとなっており、関連図書の貸出にもつながったことから、本市要求事項水準を満たし、事業計画以上の良好な運営を行っていると判断できる。今後も継続して四万十市との交流が行えることを期待する。

	・身近なお金に関する講座や認知症予防講座、子育て・孫育てに関する講座、参加者が自ら考える防災講座の開催。	3	【さだ】 ・子育て・孫育てに関する講座として、親子で一緒に参加する講座を実施しました。 7月健康講座「おなか元気プログラム」 定員20人 参加者23人 保護者が子どもの健康のため、正しい生活習慣とバランスよく食べる重要性を親子で一緒に学ぶ内容でした。 8月食育講座「ウィンナー飾り切り教室」 定員16人 参加者23人 「ウィンナー飾り切り」という体験を通じて、自然の中で育まれる生命の恵みに感謝し、親子で「食」の大切さとフードロス（SDG s）を考える内容でした。 ・参加者が自ら考える親子で一緒に参加する防災講座を実施しました。 8月防災講座「親子で考える防災教室」 定員16人 参加者17人 「南海トラフ」等大災害が起きた後、ライフラインが使えない状況でも生き抜くための知恵や工夫を親子で考え、学ぶ内容でした。イベント終了後には、関連本の貸出もあり、図書館利用につながりました。 ・1月「認知症予防講座」を実施しました。認知症に関する知識や認知機能の低下を予防する方法を学びました。普段図書館を利用されない方や遠方からのご参加もあり、図書館を知っていただくきっかけとなりました。 定員30人 参加者51人 ・3月小学生向け金融講座「おこづかいから学ぶお金の話」を実施しました。親子でおこづかいについて考え、お金の使い方を学びました。 定員16人 参加者21人 【牧野】 ・6月お金の講座「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 定員20人 参加者8人 参加者から「老後生活のお金の必要性が聞けて良かった」、「わからなかったことを多く教えてもらった」等の感想をいただき、講座後は会場内展示の関連本を手にとってご覧になっていました。 ・12月「防災講座～大雨に備える～」実施しました。気象予報士、気象防災アドバイザーの講師をお招きし、大雨の時、どんな危険があるのか、大雨の時の身の守り方などお話をいただきました。 定員20人 参加者12人 講座後は会場内展示の関連本を手にとっていただき、興味を持たれた利用者の貸出につながりました。 ・3月子育て講座「育児 de おはなしタイム」を実施しました。参加者9人 ・3月「認知症予防講座」を実施しました。定員20人 参加者17人講座後は会場内展示の関連本が貸出につながることも多く見受けられたので、その後、「認知症コーナー」として、常設展示をしています。	3	各講座の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
	・「くずし字講座」や「鉄道講座」など、生涯学習のための多様な講座の開催。	3	【さだ】 ・7月「シニア向けスマートフォン講座」 定員16人参加者13人 講座後、熱心に質問される方もおられ、会場内に展示した関連本の貸出にもつながりました。 ・10月「初心者向けくずし字講座(連続4回講座) 河内名所図会」を読む～茨田郡編～」を実施しました。 定員16人 参加者延べ59人 ・2月「お宝発見！鉄道おもしろ講座」を実施しました。小学生から 高齢の方までご参加され、多世代で楽しめる講座でした。 定員16人 参加者12人 【牧野】 ・5月「初心者向けくずし字講座(連続4回講座) 河内名所図会」を読む～茨田郡編～」を実施しました。 定員24人 参加者延べ72人 初めての方にも、以前学んだ事のある方にも、「学ぶ」ということの面白さ、楽しさを感じてもらえる講座となりました。 ・5月～9月「朗読を楽しむ講座（連続5回）」 定員10人 参加者延べ47人 ・8月、3月に「ゆる～い読書会vol.3・vol.4」を実施しました。 定員8人 参加者延べ5人 本を紹介しあうことで、お互いが新たな視点に驚いたり、共感したりと参加者同士が楽しく交流する場となりました。 ・2月「書庫の本再発見講座」を実施しました。定員20人参加者9人 ・3月「第13回地域歴史講座」を実施しました。定員30人参加者27人	3	くずし字講座や鉄道講座などの実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。
ウィズコロナの観点から電子図書館の利用を増やすための取組みが提案されている（確認事項29）					
	・非来館者へのアピールとして図書館以外の公共施設や店舗等での実施を含めた「電子図書館体験会」の開催や、現在の利用者傾向を把握し、電子図書館の様々な使い方を提案するほか、来館者に向けても電子図書館体験会や館内に二次元コードを掲示。	3	【さだ】 ・アウトリーチが認められている小学校訪問や図書館見学时に、子どもたちに、「ひらかた電子図書館」を紹介しています。 ・館内やラーニングルームに電子図書館の二次元コードを掲示しています。また、電子図書館体験会については、館内掲示やHP、Xにて案内を行いました。 ・電子図書館に興味関心を持ってもらえるよう、電子図書館おすすめ本をXにて紹介しています。 【牧野】 ・2月、図書館以外の公共施設として、牧野北分館にて「電子図書館体験会」を実施しました。 参加者4人 ・電子図書館に興味関心を持ってもらえるよう、電子図書館おすすめ本を定期的にXにて発信しています。ラーニングルーム、図書館前に紹介本のページが表示されるように二次元コードをつけたPOPを掲示しています。	3	非来館者に向けた電子図書館の案内や体験会の実施を確認したもので、本市要求事項水準を満たし、事業計画通りに運営されていると判断できる。今後も、様々な手法で電子図書館のPRを行い、より認知度が向上し、身近なものになるような取り組みに期待する。
	・来館者へのアピールとして、電子図書館体験会の実施や館内展示で二次元コードの併記。	3	【さだ】 ・9月「図書館活用講座～電子図書館体験会～」 参加者7人 図書館常連利用者の参加が多く、電子図書館に興味はあったが、使い方がわからなかったという方がほとんどで、タブレットを用いて説明しました。館内ではラーニングルーム以外でも、閲覧室の複数個所に二次元コードを掲示しています。 【牧野】 ・カウンターにて電子図書館体験ご希望の方にはタブレットを用いて、案内・説明を行い、いつでも使用してもらえるようPOPを設置しています。 ・2月「ひらかた電子図書館」の利用推進のため、「電子図書館体験会」を実施しました。うごくえほんや文字拡大機能等を紹介すると、より興味を持っていただけたようでした。	3	来館者に向けた電子図書館の利用促進への取り組みは、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。両施設ともタブレット型端末を設置しているので、随時の案内にも引き続き努められたい。

(カ) 利用者対応提案				
利用者に対する接遇対応向上について提案されている（確認事項30）				
	・接遇対応向上研修の実施	3	【センター・図書館共通】 ・3月「障がいのある人と人権」について外部講師を招き、障がいのある方々への適切な対応について理解を深めました。 【図書館共通】 ・年1回以上接遇研修を実施しています。日々の利用者対応の中でクレームにつながる恐れのある事象やご意見をいただいた事象について情報を全員で共有し、対応するときの声・表情・姿勢・フレーズなどについて話しあい、利用される方がいつも気持ちよく感じられる接遇対応を目指しています。	3 接遇対応向上研修を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・職員の自己実現・モチベーションアップの支援	3	・利用者サービス向上に向け、職員が当施設で働くことに誇りをもてるよう動機付けを行っています。 【センター共通】 ・自社内の合同会議として2月「全国施設責任者会議」、11月「全国安全管理担当者会議」を実施しました。会議で話し合った内容は施設へ持ち帰り周知し共有することで職員スキルの成熟を図っています。 ・社内において、入社2年目以上の社員を対象とした「ステップアップ研修」を実施しました。 【図書館共通】 ・社内では毎年1回前年度に活躍した所属スタッフ対象の表彰式「スタッフ感謝の会」を実施しており、全国約9,000人のスタッフの中から50人強の対象スタッフを推薦により選出し、東京本社での表彰式に参加することで、モチベーションアップを図っています。	3 継続的な研修を実施することにより、職員の自己実現・モチベーションアップの支援を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・充実した研修制度による人材育成	3	【センター共通】 ・「入社時研修」「個人情報保護研修」「人権研修」「防犯研修」等基本的な研修をはじめ、応急手当の専門的な訓練「MFA研修」、安全管理担当者向けに災害の知識に関する研修も行っています。 【図書館共通】 ・図書館の様々な業務をテーマにしたテーマ別研修やスタッフ自身の職階層に応じた研修制度を整え、研修内容を日々の業務に活かしています。	3 充実した研修制度による人材育成を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項31）				
	・定期的を実施している職員による館内巡回で危機・トラブルの早期発見と未然防止に努める	3	・毎日の施設巡回(4回/日)の際には「安全点検チェックリスト」を元に各項目のチェックを行い、異常やトラブルを発見した場合は速やかに対処するよう心がけています。	3 安全チェックリストを元に定期的な館内巡回を行い、危機・トラブルの早期発見と未然防止に努めており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・苦情・要望・対応ガイドラインの冊子を設置	3	・職員全員に苦情・要望対応ガイドラインを配布しており定期的(年2回)に読み合わせを実施しています。	3 苦情・要望・対応ガイドラインの冊子を設置しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・全職員が記入できる「ヒヤリハット記録簿」を作成し、情報共有	3	・ヒヤリハット簿を作成し、全職員が速やかに情報共有を行っています。	3 ヒヤリハット記録簿を作成し、情報共有を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・ご利用の注意・マナーのアナウンス	3	・掲示物にて利用者への案内・啓発を行っています。	3 館内掲示にて、利用者へのアナウンスを行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・早期対応と解決に努め、「事故報告書」を作成するなど報告・連絡を徹底し、全職員へ共有。	3	・問題発生時には早急に所轄課に報告・連絡・相談を行い、必要に応じて「事故報告書」を作成し提出しています。	3 事故報告書を作成するなど報告・連絡を徹底しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
利用者等の安全・秩序維持のための適切な対応方法について提案されている（確認事項32）				
	・危機管理マニュアルの読み合わせ・通読の徹底	3	・職員全員に危機管理マニュアルを配布しており定期的(年2回)に読み合わせを実施しています。	3 危機管理マニュアルの読み合わせを行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・休館日を利用した図書館合同での訓練の実施	3	【共通】 ・6月センターと図書館合同で火災を想定した消防訓練を実施しました。 ・さだ10月、牧野12月不審者対応訓練を実施しました。 ・1月センターと図書館合同で地震と火災を想定した防災訓練を実施しました。	3 図書館合同での訓練を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・施設内外の危険箇所を把握し、共有	3	・毎日の施設巡回(4回/日)の際に危険箇所のチェックを行い、何かあれば早急に共有し対応を行っています。	3 施設内外の危険箇所を把握し、共有しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・安全備品の設置	3	・防災用品、防犯用品、救急用品、感染症対策用品、熱中症対策用品を設置。また、職員用の非常用持ち出し袋を設置し、非常時にも利用者対応にあたる準備を行っています。	3 安全備品を設置しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・急病人発生時の対応	3	・体調の悪そうな方へは積極的にお声かけをし、状況によっては救急車要請や近隣の病院の案内を行っています。	3 急病人発生時には適切な対応を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

利用者サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートの実施について提案されている（確認事項33）					
	・セルフモニタリングチェックシートを作成し、情報共有	3	【センター共通】 ・セルフモニタリングチェックシートを使用し定期的に業務面のチェックをすることで、サービス向上に努めています。 【図書館共通】 ・毎月の業務を振り返り、気になった項目を中心に話し合い、サービス向上に努めています。	3	セルフモニタリングチェックシートを作成し、スタッフ会議などで適宜情報共有を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者アンケート・利用者懇談会の実施	3	・9月および2月に利用者アンケートを実施し、その結果を施設内掲示およびホームページに掲載しました。 ・1月にさだ・牧野両センターにて利用者懇談会を実施しました（さだは参加なし）。	3	利用者アンケート及び利用者懇談会を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者や利用者以外からの意見も聴取する仕組みの実施	3	・館内にご意見箱を設置しています。公開可のご意見には回答を掲示しています。 ・ホームページに問合せフォームを設け、利用者からの意見・要望の受付体制を整備しています。	3	ご意見箱や問い合わせフォームを設置するなど意見を聴取する仕組みを構築しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
業務に従事する者が、人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう、人権研修について提案されている（確認事項34）					
	・従事者全員が人権についての理解を深める研修の実施	3	・3月に「障がいのある人と人権」をテーマに人権研修を実施し、意識の向上と理解の深化を図りました。	3	人権についての理解を深める研修を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【施設の管理に関する事項】					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理計画が提案されている（確認事項35）					
	・法令を遵守し、必要な法令点検や検査を実施するとともに、法定点検以外の施設設備の点検や作業の計画的な実施	3	・各施設の「建物維持管理業務実施計画書」に則り、法令点検や検査及び必要な施設設備点検・定期清掃等を漏れなく実施しています。毎月の指定管理者運営会議で点検結果を報告するとともに、翌月以降の実施日の調整を行いました。今年度は建築基準法で3年毎の実施が定められている「特定建築物定期点検」を各施設実施しました。	3	必要な設備点検や作業を計画的に実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている（確認事項36）					
	・施設の機能・財産価値を保持するため、定期的な点検を実施し、緊急時には「初動調査チェック表」を作成し有事に備える	3	・自然災害等の緊急事態が発生した際、安全回復に向けた対応を少しでも早く取れるよう、各施設毎の「初動調査チェック表」を作成し、有事に備えました。	3	初動調査チェック表を作成しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・具体的な維持管理方法として、チェックシートを用いた巡回点検や定期点検、緊急時点検の適切な実施	3	・さだ・牧野施設においては、毎月技術者による巡回点検を実施し、施設設備の常態管理を実施しました。 ・法令及び各施設に応じた施設設備の定期点検を実施するとともに、異常が確認された場合は随時緊急点検を手配しました。	3	チェックシートを用いた巡回点検をはじめ各種点検を適切に実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・事故を出さない施設づくり	3	・日常的な点検は施設スタッフや清掃員が実施し、設備等の不具合の早期発見や避難障害の確認等に努めました。危険箇所を発見した場合は、施設スタッフで立ち入り禁止等の応急措置を講じ、来館者の安全確保を行ったうえで修繕手配を行いました。	3	日常点検で不具合箇所等の早期発見に努め、危険箇所については適切に対応するなど事故を出さない施設づくりを図っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・効率的・効果的な美観維持	3	・清掃員と施設スタッフが協力して日常の常態管理を行い、施設を清潔かつ衛生的に維持するよう努めました。日常清掃では賄いきれない汚れや手の届かない箇所については、定期清掃を実施し美観維持に努めました。	3	効率的・効果的な美観維持に努めており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・「不具合・修理案件一覧表」に基づいた効率的・効果的な修繕	3	・さだ・牧野別に「修繕案件一覧表」を作成し、日常点検や定期点検で発見された不具合事項を随時追加しました。毎月の指定管理者運営会議で「不具合・修理案件完了済み一覧表」で執行状況を確認し、優先順位を検討したうえで、効率的・効果的な修繕を実施しました。	3	「不具合・修繕案件一覧表」に基づいた効果的・効率的な修繕を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
基本仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている（確認事項37）					
	・有資格者や経験者を積極的に採用し、適切な人員配置で運営	3	・適切な人員配置で運営しています。 ・司書率【さだ71%】【牧野79%】 ・施設維持管理に必要な資格者の選任および届出を適切に行い、適正な施設管理運営に努めています。 【さだ・牧野】 「防火管理者」「建築物環境衛生管理技術者」「電気主任技術者」 【北分館】 「防火管理者」	3	有資格者や経験者を積極的に採用し、適切な人員配置で運営しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
生涯学習市民センターのロビーにおいて、基本仕様書の規定に従い、適正なWi-Fi環境の整備について明確に示されている（確認事項38）					
	・利用者が無料で利用できるWi-Fi環境を整備し、セキュリティ対策を行っている	3	・ロビーにおいて、無料で利用可能なWi-Fi環境を整備しています（セキュリティ方式としてWPA2を採用）。	3	ロビーにセキュリティ対策が施されたWi-Fi環境を整備しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出、処理の提案がされている（確認事項39）					
	・関係法令に従った廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の実施	3	・枚方市の許可を受けた収集運搬業者に一般廃棄物の処理を委託し、さだ牧野は週2回、北分館は週1回実施しました。 ・産業廃棄物の処理時には、許可業者に委託し、マニフェストを取得します。（現状、処理実績無し） ・古紙、缶・ビン・ペットボトル等の再生可能な廃棄物は分別保管し、収集運搬業者やベンダー・製造業者等に引き取りを依頼することにより、廃棄物減量に努めました。	3	関係法令に従った廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
備品管理に当たり、管理簿の整備及び責任所在について提案されている（確認事項40）					
	・備品管理簿にて施設備品を管理し、計画的に修繕・更新を実施	3	・備品管理簿を作成、管理しています。 ・利用者の安全性を第一に、利用頻度や需要等をから優先度を決め修繕・更新を実施しています。	3	備品管理簿を管理し、適宜備品の更新等を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に提案されている（確認事項41）					
	・環境負荷低減施策の推進者を定め、スタッフ及び施設利用者への告知・啓蒙を 実践	3	・環境負荷低減施策の推進者をセンター所長と定めています。 ・打ち水大作戦に参加 ・使用用紙をSFC認証品にしています。 【牧野】 ・環境負荷啓蒙活動として2階ロビーで、植物の栽培を実施しています。 【北分館】 ・納豆菌を利用した土壌再生・土壌改良に取り組んでおり、SDG s の一貫として雑草を利用した地球に優しい土を使って、季節の花や野菜の栽培を実施しています。	3	環境負荷低減施策の推進者を定め、利用者等への啓蒙活動を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・コスト削減につながる修繕を計画し、提案実行	3	【牧野】 ・令和7年度は、照明器具のLED化および空調設備の一部更新工事を、保全計画に基づき枚方市にて実施いただきました。工事が円滑に進捗するよう、積極的に協力しました。 【さだ】 ・令和8年度は牧野と同様の工事を予定頂いていますので、計画を踏まえた修繕工事の執行を心がけます。老朽化が進行している設備についての、環境負荷低減につながる製品情報の収集や、積算協力を引き続き行います。	3	枚方市が実施する工事以外のコスト削減につながる修繕を計画し、実行されたい。
業務に従事する者及び利用者の手指や備品の消毒、施設の換気等、感染症の拡大防止策が提案されている（確認事項42）					
	・感染症の基本的予防保全対策	3	・館の出入口、各階に手指消毒液を設置するとともに、利用者へ手洗いの注意喚起を掲示しています。 ・嘔吐物処理キットを設置しています。	3	感染症の基本的予防保全対策を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・ウイルスとの共存を見据えた新たな感染拡大防止策	3	・枚方市感染症予防計画に則って施設運営を行っています。	3	必要に応じた感染拡大防止策を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】					
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項43）					
	・情報の公開に関して公平性・透明性・迅速性をもって適切に対応	3	・枚方市の情報公開条例に則り迅速に適切に対応します。	3	情報公開に適切に対応しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・利用者アンケートの結果など自発的な情報開示	3	・アンケート結果、回答は施設に掲示し、ホームページに掲載もしています。	3	利用者アンケートの結果を開示しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
個人情報保護法及び関係法令の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項44）					
	・個人情報の取り扱いガイドラインを遵守	3	・個人情報の取り扱いガイドラインを遵守し運営を行っています。	3	個人情報の取り扱いガイドラインを遵守しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・年一回の個人情報保護研修の受講	3	【センター共通】 ・12月個人情報保護研修を実施しました。 【図書館共通】 ・さだは8月、牧野は10月に個人情報保護研修を実施しました。	3	個人情報保護研修を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・年一回の個人情報保護チェックシートの活用	3	・年1回個人情報保護チェックシートに基づき、施設内の個人情報保護体制のモニタリングを実施しています。 【センター共通】 ・12月の個人情報保護研修時に実施しました。 【図書館共通】 ・12月個人情報保護に関する内部監査にて実施しました。	3	個人情報保護チェックシートに基づいた個人情報保護体制のモニタリングを実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
【緊急時における対策に関する事項】					
施設（監視盤等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている（確認事項45）					
	・危機管理マニュアルを随時更新し、適切に対応できるよう活用	3	・危機管理マニュアル令和6年7月更新。職員全員に配布しています。	3	危機管理マニュアルを随時更新しており、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・安全に関する内部監査の実施	3	・11月安全管理推進室による内部監査を実施しました。	3	安全に関する内部監査を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・安全管理担当者を配置し、「全国安全管理担当者会議」で情報共有	3	・安全管理担当者を配置しています。 ・7月、9月に安全管理担当者会議（関西）を実施しました。 ・11月全国安全管理担当者会議で取組事例を共有しました。	3	安全管理担当者を配置し、安全管理担当者会議を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項46）					
	・災害発生時の適切な対応について、対応フロー図を作成し、施設スタッフへの周知徹底、実践的な訓練の実施	3	・危機管理マニュアルを全員に配布し読み合わせを行っています。 ・火災、地震、風水害、怪我・急病についてそれぞれ対応フロー図を作成し、職員間で共有、周知を徹底しています。 ・災害発生時に適切な対応が実現できるよう、年2回実践的な訓練を行っています。	3	対応フロー図を作成・周知し、適切な訓練を実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・日々の危機管理体制の確認	3	・危機管理体制を毎日更新掲示し朝礼時に共有しています。	3	日々の危機管理体制の取組は、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・非常時、緊急時は市へ報告し、迅速な対応・解決につなげる体制整備	3	・非常時、緊急時には速やかに市へ報告し、迅速に対応・解決できる体制をとっています。	3	緊急時等は市へ報告し、迅速な対応・解決につなげる体制を整備しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・「緊急連絡網」を整備し、緊急時における連絡体制の構築	3	・緊急連絡網を作成し、所轄課に提出しています。	3	緊急連絡網を整備し、緊急時における連絡体制を構築しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている（確認事項47）					
	・「リスク分担表」に則った責任分担を理解している	3	・原則「別表1 リスク分担表」に従います。	3	リスク分担表に従った運営を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

【その他】				
高齢者・障害者サービスを維持・向上させる具体的な取組みについて提案されている（確認事項48）				
	・施設のバリアフリー化やピクトグラムを用いた掲示案内の増設	3	【さだ】 ・授乳室にピクトグラムの表示を追加しました。 ・プレイルーム入口の段差を解消するためのスロープを購入しました。 【牧野】 ・可動式のスロープで段差に対応しています。 ・ピクトグラムは引き続き必要箇所があれば増設します。 ・施設前道路が一方通行であることを分かりやすく周知し安全確保につなげるため、市と協議のうえ、駐輪場出入口や正面玄関出入口、駐車場壁面上部の目立つ位置に案内表示を設置し、来館時の動線の明確化と利用者の安全意識の向上を図っています。	3 施設のバリアフリー化やピクトグラムの増設を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・生涯学習市民センターとして、講座実施や高齢者をはじめとする様々な人の活躍の場の創出、平等な情報伝達方法の提案といった取組み	3	・豊富な知識、経験、優れた技術を講師として生かしていただけるよう、講師紹介カードの提出をご案内しています。 ・老眼鏡・車いすを継続して設置しています。 ・耳の不自由な方のために筆談ボードを設置しています。 【さだ】 ・9月「エンディングノート講座」を実施 定員20人 参加者21人 【牧野】 ・3月「（シニア向け）バランス感覚を養う！座ってらくらく体操教室」定員15人 参加者13人	3 高齢者向けの講座を行うなど高齢者をはじめとする様々な人の活躍の場の創出等に向けた取組を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・図書館として、認知症にやさしい図書館や高齢者サービスの維持向上、障害者サービスの維持向上といった取組み。	3	・リーディングトラッカー、老眼鏡、筆談ボードを継続して設置しています。 ・やさしく読みやすい本「LLブックコーナー」を継続して設置、バリアフリーの理解にも活用していただいています。 ・「認知症にやさしい図書館ガイドライン」をもとに認知症に対する理解、認知症の方との接し方をスタッフで研修しています。認知症について、いつでも相談できるよう地域包括支援センターと連携できるように全スタッフに周知しています。 ・高齢者サービス、障害者サービスとして車いすを継続して設置し、定期的にメンテナンスを行い、緊急時に備えています。 【さだ】 ・1月地域包括支援センターによる「認知症予防講座」を実施しました。 ・高齢者の負担軽減を目的に、一般書書の最下段への配架を無くしました。 【牧野】 ・文字が読み辛くなる高齢者へ大活字本を紹介したり、電子図書館の文字サイズ変更や、音声読み上げ機能の案内を行っています。 また、新設の予約棚はなるべく最下段への配架を避けるよう量を見ながら調整しています。 ・3月に地域包括支援センターによる「認知症予防講座」を実施しました。	3 リーディングトラッカーや老眼鏡、コミュニケーションボード等の設置、また、認知症にやさしい図書館ガイドラインの活用などは、本市要求事項水準を満たしており、事業計画通りに運営されていると判断できる。両施設ともに利用しやすい配架を心がけており、継続的に取り組まれています。
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている（確認事項49）				
	・従来層＋αに向けたデジタル媒体のさらなる活用	3	・YouTubeの配信機能を活用しています。 ・ホームページからの講座・イベント申し込みを実施しており、日頃利用の少ない若年層からのイベント申込も徐々に増加しつつあります。また、初めて来館される方に向けて、最寄り駅からセンターまでの行き方などを紹介したYouTube動画をホームページのアクセス欄にはめ込んでそのまま動画を視聴できるようにしています。	3 Youtube等のデジタル媒体を活用しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・様々な手法を駆使した積極的な連携講座の実施	3	【さだ】 ・8月に、近隣の障害者就労施設と連携し、「さだマルシェ in summer」を実施しました。地域との連携を図るとともに、障害者就労施設の活動の周知につなげました。 【牧野】 ・2月にセンター・図書館連携事業「本とあそびのひろば in まきの～読んで、作って、見て、楽しもう！～」を実施しました。図書館職員によるおはなし会や科学実験、社会福祉団体や企業によるものづくり体験など多様なブースを設け、親子の交流や読書・ものづくりに親しむ機会を提供しました。センターと図書館の枠を超えた取組として大変好評でした。 参加者121人	3 周辺事業者等と連携したイベントを実施しており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。
	・地域を巻き込んだ広報物の刷新・作成	3	【さだ】 ・「さだだより」を光善寺駅構内のチラシラックや掲示板、近隣商店などに配架し、広報活動に努めています。 ・「さだだより」の表紙に掲載する作品を募集し、地域住民の参加を促進しています。 ・「さだだより」において地域イベントの紹介を行い、地域情報の発信に取り組んでいます。 【牧野】 ・「まきのだより」の表紙に「枚方きりえ倶楽部」の作品を掲載し、地域文化の発信に取り組んでいます。 ・「まきのだより」に、地域の季節感を伝える「季節のおたより in 牧野」のコーナーを新設しました。	3 表紙に掲載する作品を公募するなど地域を巻き込んだ広報物の作成を行っており、本市要求事項を満たし、事業計画どおりに運営していると判断できる。

指定管理者による一次評価 平均点	3.0	所管部署による二次評価 平均点	3.0
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 (1)の評価基準		
S	事業計画における提案以上に、良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3点以上4点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上3点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満 または「1」の評価があり、かつ、その理由が重大な内容である場合

評価項目 1 業務の履行状況 (1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に減少していない。／大幅に減少している場合、その理由が妥当で、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	問題ない	○	大幅に乖離していないことを確認した。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がない。／想定外に多く支出している費目がある場合、その理由が妥当で、今後、予定外の支出が発生するおそれがないか。	○	問題ない	○	想定外に多く支出している項目がないことを確認した。
・運用資金の借り入れを行っていない。／借り入れを行っている場合、その理由が妥当か。	○	問題ない	○	運用資金の借り入れを行っていないことを確認した。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	適正である	○	現金管理は適正に行われていることを確認した。

評価項目 1 (2)の評価基準			
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○	
B	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である	△が1個以上	
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1 個以上	

評価項目1 業務の履行状況（2）施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）	A
---	---

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

.....

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項3ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	行っている	○	再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われていることを確認した。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	管理している	○	指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を別の口座で管理していることを確認した。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	講じている	○	個人情報保護に関し必要な措置を講じていることを確認した。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	遵守している	○	労働関係法令を遵守していることを確認した。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	行っている	○	職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っていることを確認した。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	管理・保存している	○	管理規定等を定め、文書を適正に管理・保存していることを確認した。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	行っている	○	環境への配慮が適切に行われていることを確認した。
・適切な保険に加入しているか。	○	加入している	○	施設について適切な保険に加入していることを確認した。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	明記している	○	指定管理者名と設置者名を表示・明記していることを確認した。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組まれ）ており、募集要項13ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	現在の障害者法定雇用率は、民間企業において2.5% 令和7年6月1日現在 【小学館集英社プロダクション】 代表企業の障がい者雇用率は2.32%であり、現状では法定雇用率に対し1人不足している状況ですが、達成に向けて積極的に採用活動を進めています。今後も会社全体で体制の整備を図りながら、継続的に取り組んでいきます。 【長谷工コミュニティ】 平成3年に特定子会社を設立し、平成21年には「関係会社特例制度（グループ摘要）」の認定を受けています。グループ全体での障害者雇用率は2.54%で、法定雇用率を達成しています。 【図書館流通センター】 障がい者雇用率は3.00%で、法定雇用率を達成しています。	○	達成に向けて適切に取り組まれていることを確認した。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	取り組んでいる	○	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを解析し、業務改善に取り組まれていることを確認した。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	報告している	○	事業報告書、日報・月報等を遅滞なく提出され、適切に報告されていることを確認した。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	報告している	○	修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されていることを確認した。

評価項目 1 (3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね適切に実施されている	△が1個以上
C	不適切な点があり、直ちに改善を求める	×が1 個以上

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善が必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。	○	事項はない	○	応募の資格に抵触する事項はないことを確認した。
（監査報告書等） ・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。	○	適正に行われている	○	会計手続きが適正に行われていることを確認した。
（監査報告書等） ・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。	○	されていない	○	事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないことを確認した。
（貸借対照表） ・資産・負債の中に大きな前期比増減がない。／ある場合、その理由は妥当か。	○	適正である	○	資産・負債の中に大きな前期比増減がないことを確認した。
（損益計算書等） ・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	○	適正である	○	安定した収益をあげられていることを確認した。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	○	適正である	○	安定していることを確認した。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	要素はない	○	団体の経営に影響する要素はないことを確認した。

評価項目 2 の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善が必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が1個以上
C	不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	×が1個以上

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
----------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

- ◆ 指定管理業務全般に関し自己評価を行い、今後の管理運営事業の対応方法等について記載してください。
- ◆ 一次評価において改善が必要と判断した項目については、今後の改善方法等について必ず記載してください。

一次評価コメント

指定管理3年目となる本年度においても、安心・安全な施設運営と文化創造の支援に取り組み、地域の活性化に貢献しました。

第2回利用者アンケートにおいても、第1回に引き続き高い評価をいただいています。満足度調査では、「普通以上」との回答が、諸室・ロビー・図書館フロアの満足度において、さだセンター96.79%、さだ図書館98.38%、牧野センター98.9%、牧野図書館99.6%、牧野北分館98.8%と高水準となりました。また、窓口および業務対応についても、さだセンター99.14%、さだ図書館99.7%、牧野センター100%、牧野図書館100%、牧野北分館98.8%と、いずれも非常に高い評価を得ています。

一方で、アンケートでは備品の修繕や拡充を求める声も多く寄せられており、今後は利用者の安全・安心に関わる事項を最優先としつつ、順次対応を進めていきます。

施設稼働率については、さだセンターが約5%増、牧野北分館が約3%増加しました。これは、諸室の利用方法の提案や利用者ニーズに応じた備品の整備など、日頃の取組による認知度向上と利用促進の成果と考えられます。

一方、牧野センターは約4%の減少となりましたが、これは昨年11月の工事期間および夜間利用の減少が要因と考えられます。今後は自主事業の充実や利用方法の提案を通じて需要を喚起するとともに、夜間事業の拡充およびSNSを活用した情報発信の強化に取り組んでいきます。

自主事業においては、子どもから大人まで幅広い層を対象とし、多様な内容の講座やワークショップを実施しました。大阪・関西万博関連のイベントや展示も行い、現地に赴かずとも万博の雰囲気を感じられる企画として好評を得ました。牧野北分館では、敷地内で栽培した野菜の収穫から調理までを行う体験型事業を実施し、参加者アンケートでも高い評価を得ました。図書館職員による読み聞かせを通じて、栽培方法や背景を学ぶ機会を提供できたことも評価されており、「学び」と「楽しみ」を両立した取組として、今後は牧野センターでの事業展開にも活かしていきます。

昨年度の課題であったオンライン講座については、今年8月にさだセンターをメイン会場、牧野センターをサブ会場とした同時配信講座を企画しています。

この取組を契機に、今後のオンライン事業の展開および施設間連携の強化につなげていきます。

図書館では、令和7年度にIC化を進めてまいりました。予約照会機や自動貸出機を館内に設置し、利用者の皆様の利便性を高めていけるよう努めてまいります。

令和7年度のさだの開館日数は昨年と比べて1日増、牧野が施設工事の関係で開館日数が昨年と比べて12日減でした。来館者人数は昨年度対比で、さだ103.1%、牧野94.3% 貸出冊数は昨年度対比で、さだ110.3%（一般書108.9%・児童書113.5%）、牧野102.9%（一般書104.0%・児童書99.5%）となっております。

児童に向けては、図書館で実施する「おはなし会」や「工作会」、「おりがみ&ぬりえ」等の様々な行事を通じて、図書館への来館を促し、子どもたちが読書習慣を身につけ、「生きる力」を育む支援となるよう今後も努めてまいります。

一般成人に向けては、学びを支え、課題解決となるような講座や資料展示を今後も継続していきます。また、書籍だけではなく「ひらかた電子図書館」やジャパンレッジやヨミダスといったデータベースを活用いただけるよう周知に努めてまいります。

施設設備全般については、利用者の皆様に安心・安全かつ快適に施設をご利用いただけるよう、日常点検や定期点検の確実な実施に加え、不具合や劣化の早期発見・早期対応に努めました。令和7年度における修繕の執行は、さだ・牧野施設の防火シャッター修理、牧野施設点字タイル設置等利用者の安全確保に係る修繕 8 件、さだ・牧野施設の空調機修理やさだ施設の受水槽修理等施設の衛生面や快適性の確保に向けた修繕17件、さだ施設の給湯室・料理室の壁面塗り替え等施設的美観維持・向上に向けた修繕他、3施設合計44件の修繕を実施しました。

また、枚方市の保全計画に基づく、牧野施設の「照明器具のLED化および空調設備の一部更新工事」ならびに「外壁漏水箇所の一部改修、1階ホール内壁改修工事、駐輪場ほか外部鉄部塗装工事」により、安全性・快適性を改善頂きました。

令和8年度は市の保全計画に基づき、さだ施設の「空調機器、照明設備、自家用発電設備」に関する更新工事を実施いただきます。工事中は利用者の安全確保を第一とした上で、工事がスムーズに実施できるよう協力してまいります。

今後も、修繕費予算の有効活用を図るため、劣化している施設・設備に対して優先順位付けを行い、枚方市の保全計画とも整合を図りながら、計画的に修繕・更新を実施してまいります。また、指定管理者間および枚方市との情報共有を密にし、連絡・報告・相談を正確かつ迅速に行う体制を維持しつつ業務に取り組んでまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果及び総合評価

評価項目		評価結果	総合評価
1 業務の履行状況			A
(1)	選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	A	
(2)	施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	A	
(3)	募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	A	
2 業務の継続性・安定性		A	

総合評価の考え方

評価項目ごとの評価をそれぞれ S = 4 点、A = 3 点、B = 2 点、C = 1 点として 4 項目（または 3 項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が 1 つ以上ある場合はその合計点数から 1 点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。

点数・評価対応表															
評価項目ごとの評価をそれぞれS＝4点、A＝3点、B＝2点、C＝1点として4項目（または3項目）の合計点数を算出し、そのうち「C」評価が1つ以上ある場合はその合計点数から1点減点し、下表の区分により総合評価を決定する。 ただし、評価ポイントにおいて「1」や「×」となった理由が重大な内容である場合は、総合評価を「C」評価とする。															
総合評価		S			A				B			C			
評価項目 が4つの 場合 (順不同)	点数	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3
	評価項目 の評価 (順不同)	SSSS	SSSA	SSSB	SSAB	SSBB	SABB	AABB	ABBB	BBBB	AACC	ABCC	ACCC	BCCC	CCCC
				SSAA	SAAA	SAAB	AAAB	SBBB	SSCC	SACC	ABBC	BBBC	BBCC		
					AAAA	SSAC	SSBC	SABC	AABC	SBCC	SCCC				
評価項目 が3つの 場合 (順不同)	点数	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2			
	評価項目 の評価 (順不同)	SSS	SSA	SSB	SAB	SBB	ABB	BBB	SCC	ACC	BCC	CCC			
				SAA	AAA	AAB	SAC	SBC	ABC	BBC					
						SSC		AAC							

(2) 二次評価コメント

- ◆ 一次評価（総括）を踏まえ、所管部署としての二次評価（総括）を記載してください。
- ◆ 評価項目ごとの評価が B または C となった項目については、具体的な改善指示等を必ず記載してください。

〈生涯学習市民センター〉

安心・安全な施設管理を念頭に、細やかな気配りを行っていることが、利用者満足度の高さに繋がっており、特に大きなトラブル等がなく、日々利用者目線に立った施設運営を続けていることは評価できるものです。館内装飾等の館内の空間づくりにおいても施設職員の細やかな気配りが感じられ、清潔で居心地の良い空間づくりを実施していることが、利用者満足度の高さの一助となっていることが伺えます。また、諸室の利用方法の提案や利用者ニーズに応じた備品の整備など、施設の認知度向上と利用促進に向け取り組まれた結果、さだセンター及び牧野北分館において、施設稼働率の向上につながったことは評価できます。今後も自主事業の充実や情報発信の強化など、施設稼働率の向上に向けた取組に期待します。

継続的な学習支援についても、多角的な活動団体のサポートが、新規サークルの立ち上げやサークルの継続した活動に繋がっていることも評価できるものです。今後も市民が生涯学習を始めるきっかけとなるよう、既存の利用者はもちろん生涯学習市民センターを利用したことがない層にもアプローチする自主事業や利用者サービスの展開を期待します。

〈図書館〉

基本的な図書館業務に加え、より多くの方々に利用していただけるよう、定期的な特集展示の入れ替えや様々な年齢層に向けた多種多様な事業を展開するなど、積極的な施設運営に取り組まれていることは評価できるものです。事業の実施においては、参加者を読書および図書館利用につなげることを意識した取り組みを期待します。新規登録者の継続的な図書館利用につながるような事業や、利用者にとって快適な環境の提供を意識した図書館運営を心掛けてください。また、ICタグシステムの導入、予約図書受取コーナーの設置に伴い、一部の業務が削減されたことから、フロアワークにおける読書相談・案内、効果的な選書の実現など、より充実した図書館運営につながる取り組みに期待します。

5 改善指示への対応状況

指示を行った時期	内 容	対応状況

6 添付資料

- ◆ 収支利用状況